
第2回 三朝町議会定例会会議録（第7日）

平成25年3月13日（水曜日）

議事日程

平成25年3月13日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第2号 平成25年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第3号 平成25年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第4号 平成25年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第5号 平成25年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第6号 平成25年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第7号 平成25年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第8号 平成25年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第9号 平成25年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第10号 平成25年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第11号 平成25年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第11 議案第12号 平成25年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第12 議案第13号 平成25年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第13 議案第14号 三朝町防災会議条例の一部改正について
- 日程第14 議案第15号 三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例及び三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第16号 三朝町営住宅等の整備基準に関する条例の設定について
- 日程第16 議案第17号 三朝町町道の構造の技術的基準に関する条例の設定について
- 日程第17 議案第18号 三朝町準用河川条例の設定について
- 日程第18 議案第19号 三朝町町営事業分担金徴収条例の一部改正について
- 日程第19 議案第20号 三朝町道路占用料徴収条例の一部改正について
- 日程第20 議案第21号 新たに生じた土地の確認について
- 日程第21 議案第22号 坂本地区地籍調査事業に伴う字の区域の変更について
- 日程第22 議案第23号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について

- 日程第23 議案第24号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第24 議案第25号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第25 議案第26号 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
- 日程第26 議案第27号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第27 議案第28号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第28 議案第29号 平成24年度三朝町一般会計補正予算（第9号）
- 日程第29 議案第30号 平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第30 議案第31号 平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第31 議案第32号 平成24年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第32 議案第33号 平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第33 議案第34号 平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第34 議案第35号 平成24年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第35 議案第36号 平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第36 議案第37号 平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第3号）
- 日程第37 議案第38号 平成24年度三朝町財産区特別会計補正予算（第3号）
- 日程第38 議案第39号 平成24年度三朝町水道事業会計補正予算（第4号）
- 日程第39 議案第40号 平成24年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第1 議案第2号 平成25年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第3号 平成25年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第4号 平成25年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第5号 平成25年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第6号 平成25年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第7号 平成25年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第8号 平成25年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第9号 平成25年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第10号 平成25年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第11号 平成25年度三朝町財産区特別会計予算

- 日程第11 議案第12号 平成25年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第12 議案第13号 平成25年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第13 議案第14号 三朝町防災会議条例の一部改正について
- 日程第14 議案第15号 三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例及び三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第16号 三朝町営住宅等の整備基準に関する条例の設定について
- 日程第16 議案第17号 三朝町町道の構造の技術的基準に関する条例の設定について
- 日程第17 議案第18号 三朝町準用河川条例の設定について
- 日程第18 議案第19号 三朝町町営事業分担金徴収条例の一部改正について
- 日程第19 議案第20号 三朝町道路占用料徴収条例の一部改正について
- 日程第20 議案第21号 新たに生じた土地の確認について
- 日程第21 議案第22号 坂本地区地籍調査事業に伴う字の区域の変更について
- 日程第22 議案第23号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について
- 日程第23 議案第24号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第24 議案第25号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第25 議案第26号 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
- 日程第26 議案第27号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第27 議案第28号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第28 議案第29号 平成24年度三朝町一般会計補正予算（第9号）
- 日程第29 議案第30号 平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第30 議案第31号 平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第31 議案第32号 平成24年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第32 議案第33号 平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第33 議案第34号 平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第34 議案第35号 平成24年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第35 議案第36号 平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第36 議案第37号 平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第3号）
- 日程第37 議案第38号 平成24年度三朝町財産区特別会計補正予算（第3号）
- 日程第38 議案第39号 平成24年度三朝町水道事業会計補正予算（第4号）
- 日程第39 議案第40号 平成24年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）

出席議員（10名）

1番 清水 成 眞	2番 藤 井 克 孝
4番 福 田 茂 樹	5番 遠 藤 勝太郎
6番 平 井 満 博	7番 松 村 修
9番 知久馬 二三子	10番 山 田 道 治
11番 杉 原 憲 靖	12番 牧 田 武 文

欠席議員（2名）

3番 吉 田 文 夫	8番 横 木 文 雄
------------	------------

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	石 井 秀 己	主任	布 広 久美子
----	---------	----	---------

説明のため出席した者の職氏名

町長	吉 田 秀 光	副町長	森 脇 光 洋
会計管理者	山 根 智 美	総務課長	山 根 猛 昭
財務課長	大 村 哲 也	税務課長	石 原 伸 二
企画観光課長	松 浦 弘 幸	農林課長	岩 山 靖 尚
町民課長	小 椋 泰 志	建設水道課長	早 苗 睦 巳
健康福祉課長	前 田 敦 子	総務課参事	吉 田 弘 幸
危機管理課長	松 原 茂 隆	農業委員会事務局長	真 嶋 峰 和
教育委員会委員長	西 田 醇	教育長	朝 倉 聡
教育総務課長	遠 藤 英 臣	生涯学習課長	平 井 文 彦
生涯学習課参事	松 原 照 宗	農業委員会会長	山 本 雅 之
代表監査委員	和 泉 澤 吉	国民宿舎事業管理者	知久馬 孝 紀

午前10時00分開議

○議長（牧田 武文君） おはようございます。

ただいまの出席議員は10名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員では横木文雄議員が全国年金連盟社員総会及び陳情のため、吉田議員が身内の葬儀のため欠席の届け出が出ています。当局はございません。

以上、報告します。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第1 議案第2号 から 日程第39 議案第40号

○議長（牧田 武文君） お諮りいたします。議事の進行上、この際日程を変更して、日程第1から日程第39までの39件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、この際日程を変更して、日程第1から日程第39まで、すなわち議案第2号から議案第40号までの39件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第2号、平成25年度三朝町一般会計予算について、本案に対する質疑は、ページの順を追って行います。

まず、第2表、債務負担行為、第3表、地方債、6ページから7ページまでについて、質疑ありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、歳入について質疑を行います。事項別明細書の歳入で、町税から手数料の農林水産業費手数料について、10ページから14ページまで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） 14ページの土木使用料で、町営住宅使用料の部分で、296万2,000円減額になってますけども、これは何か要因があるんですか。

○議長（牧田 武文君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 済みません。ただいまの質問にお答えいたします。

昨年の実績を勘案いたしまして算出したところ、これだけの額になったということで減額になりました。以上であります。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 昨年減額になった理由というのは何なのか。マイナスにすることが予算計上の部分ではないと思うんですよね。満額することによって、全部使用することによっての取り組みをやらないけんじゃないかと思うけども、その辺はいかがですか。

○議長（牧田 武文君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 当初は満額ということで、満室ということで予算見積もりをしておりましたけれども、途中の入退所等ありまして、そういったことによる空室の時間が少々あったということも影響しているということでございます。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 町営住宅もちょっと老朽化してるという部分も含めて、何ちゅうか、改装というか、改築も含めてやっぱりやっていかんと、同じ戸数であっても入居者が少ないという理由が出てきとらへんのかなと思うので、そこらも含めて今後検討されるべきだと思います。

○議長（牧田 武文君） 答弁はよろしいですか。

○議員（6番 平井 満博君） 答弁よろしいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら、進行いたします。

次に、国庫支出金及び県支出金について、15ページから21ページ、学校教育費委託金まで、質問。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 20ページの電源立地地域対策交付金、いよいよ削減されてきたのかなという思いを持っているんですけども、その辺は、実際、5,500万からずっと維持があったわけですけども、今回3,200万というふうになってます。いよいよ国が削減してきたのかなというふうに私は思いますけど、いかがでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 電源立地交付金自体の交付額は昨年とほぼ変わっておりません。今年度の予算の事業費に合わせて財源を充てているという数字でございまして、25年度に交付

される額は前年並みでございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 以前から削減されるんでないかというずっと話があった状況は確認してありますか。削減されるというふうに認識しておられますか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 国の方と毎年度確認をしております、交付金の削減というのは現段階ではございません。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 執行部にはしっかり努力していただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら質疑を終結し、進行いたします。

次に、財産収入から町債について、22 ページから28 ページまで。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 26 ページの中ほど、ちょっと下なんですけども、町史売り払い収入8万円、これは前につくった分だというふうに思うんですけど、まだ完売されとらんということですか。

○議長（牧田 武文君） 総務課長。

○総務課長（山根 猛昭君） 町史の分については、すべて完売ということになっておりません、今年度の部分について販売を見込んだ額を収入として入れておることでございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） またことし新たに縮小版ちゅうのを5,000円で500冊ぐらいつくられる予定だけれども、完売する見込みがあつてですか。何か残つとる、残つとる、残つとるという状況を聞くわけですけど、その下の分にも上がつてるんですけど、例えば町報縮刷版販売収入150万円、これ、新しくつくるものと収支が合わんと思うけど。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 町報縮刷版につきましては、町制60周年の記念事業として、これまでの25年ほどの三朝町報を縮刷にして、冊子にして販売するというもので、町史とは全く別なものでございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。もう1回、これで終わりです。

- 議員（５番 遠藤勝太郎君） これ、３遍目かいな。
- 議長（牧田 武文君） ３遍目です。
- 議員（５番 遠藤勝太郎君） ２つ聞きよるけど。
- 議長（牧田 武文君） 副町長が指折られたけえ３遍目じゃないか。
- 議員（５番 遠藤勝太郎君） ならやめる。（聴取不能）にする。
- 議長（牧田 武文君） もう１回いいですよ。
- 議員（５番 遠藤勝太郎君） 要するにこしもつくれるわけだけでも、先回が完売されとらんということいいですか。
- 議長（牧田 武文君） 山根総務課長。
- 総務課長（山根 猛昭君） 先ほど企画観光課長が説明しました町報の縮刷版は、毎月出しておる町報を縮刷したものを出したいということで、６０周年記念ということで計画しておるということでございますし、町史につきましては、町の歴史的なことをすべて含めたものを本にして出しておるということございまして、内容的にはちょっと違うものですから……。
- 議員（５番 遠藤勝太郎君） 完売されておらんか聞いとうだ。内容はええけえ。完売されとるかどうか。
- 総務課長（山根 猛昭君） 完売の話でございますが、先ほど御答弁申し上げましたように、町史についてはまだちょっと残っておる状況で、数についてはちょっと今手元ございませんので、申しわけございませんが、まだ残っておる状況でございます。
- 販売につきましては、町外の方も含めて販売をさせていただいておるということでございますし、町報の縮刷版については、新たに印刷をして、町報の縮刷版を皆さんに買っていただきたいということでございます。
- 議員（５番 遠藤勝太郎君） 違った項目ええだら。
- 議長（牧田 武文君） ５番。
- 議員（５番 遠藤勝太郎君） なら２つ下の町報縮刷版販売収入の１５０万円、５，０００円で５００冊だかという計画だというふうに思ってたけど、全部売る考えじゃなしに、残すちゅう考えですか、これ。
- 議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。
- 企画観光課長（松浦 弘幸君） 製作するのは５００部製作をします。そのうち３００冊を販売をするということで、２００冊は記念事業の分でもありますので、配布をするという考えであります。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） 27 ページ、上から何行目になるかいな。10 行目ですね。まちづくり支援自動販売機販売手数料、これは何基あって、どのようにされてるのか、お願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 何基あってどのようにということですが、10 基のまちづくり自動販売機というふうに記憶しております。確かでないところで申しわけございませんが、それから、収入につきましては、町の財源として当てはめさせていただいております、例えば図書館の本の整備とか、そういうことに充てさせていただいております。

○議長（牧田 武文君） 2 番。

○議員（2 番 藤井 克孝君） いいです。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら質疑を終結し、進行いたします。

続いて、歳出の総務費、30 ページから40 ページ、監査委員費まで。質疑ありませんか。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 31 ページ、三朝町ホームページ管理費16万8,000円ですが、何か少ないような気がします、これはサーバー代とか何かでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 主にはデータディスクの使用料、これは観光協会と半々で使っておりますので、その2分の1の部分と、ホームページの修正費用が10万円ほどの内訳でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） ホームページ、今、大分見やすくなってきておりまして、検索等々も随分やりやすくなってきたなというイメージはしておりますが、今、フェイスブック等々でも情報を流しておられますね。あれ、フォローされとる人間って、今、何人ぐらいおられますか。

○議長（牧田 武文君） 松浦企画観光課長。

- 企画観光課長（松浦 弘幸君） 済みません。そちらの方のフェイスブックのフォローまではこちらと確認はしておりません。
- 議員（1番 清水 成真君） いいです、じゃあ。
次……。
- 議長（牧田 武文君） 別ですか。
- 議員（1番 清水 成真君） 別。
- 議長（牧田 武文君） なら別で。1番。
- 議員（1番 清水 成真君） 同じく31ページですが、予算説明資料112ページです。町役場の広告塔の整備事業です。これの経緯と、なぜこれが必要なのか、ちょっとお聞きしたいと思いますが。
- 議長（牧田 武文君） 松浦課長。
- 企画観光課長（松浦 弘幸君） 町内におきまして、いろんな情報を町民の方、それから観光客の方に提供するのが必要だなというふうに考えておりまして、そういった部分で、町の入り口になる付近で集約をして、総合的に情報発信をする必要があるのではないかなというふうに考えております。そういったことで、行政情報だとか、観光情報だとか、コンベンションの案内だとか、文化ホールの催しだとか、そして緊急的信息だとか、そういったものを発信する場所を庁舎内に設けたいという考えでございます。
- 議長（牧田 武文君） 1番。
- 議員（1番 清水 成真君） ここに書いてある目的のところ、行政情報や観光情報ですが、私のイメージとして、車で通られる方がほとんどだと思いますけども、一瞬のうちで情報を流すという形でありまして、何となく本当に必要な広告塔なのかなという気がしますし、パオパブの前に1つ大きなのがありますね。電光掲示板みたいな。あれとの関係というのはありますか。
- 議長（牧田 武文君） 松浦課長。
- 企画観光課長（松浦 弘幸君） パオパブの前のところの掲示板については、ある程度、国交省がつくったものですから、情報が集約をされているというふうに考えておりますので、今、先ほど私が申しましたように、幅広い形でのタイムリーに流す広告塔として設置をしたいというふうな思いでございます。
- 議長（牧田 武文君） 1番。
- 議員（1番 清水 成真君） パオパブ等々の前の電光掲示板、結構大きな掲示板であります、今回1,200万で、あれ以上のものなのかわかりませんが、本当に重要なものであ

るかということをもう一度ちょっと、本当に必要なものかということをもう一度ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） イメージとしましては、倉吉駅の前にあるような形でのイメージをしております。それで、これまで観光部分でいいますと、何か大きな大会があったときに渓泉閣の前に横断幕で張ったりですとか、役場庁舎のところには懸垂幕で、風が吹いてばたばたばたするようなことで苦勞しておりましたですけど、やはりそういったようなかけかえだとか、それから時間的なものだとか、情報発信頻度とか考えたときに、やはり今、国道でも県道でもいろんな情報が電光掲示板によって流れております。県内でも至るところにそういうところがありますので、やはり観光の町としても、それから広い面積をもって谷が分かれておる町の地形からしても、入り口付近になるところについての情報発信というのは必要なものだというふうに考えております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 同じ質問ですけども、私もその必要性というのを、清水議員も言われたですけども、私は、もっと違った観点で、例えば防犯カメラとか防犯灯とか、そっちの方が急がれるものじゃないかと思うんですけどね。どう思うように思いますか。優先順位はこっちの方が高いと思います。例えば広告塔だったら倉吉駅の辺に建てて、三朝温泉をPRするといったらまだしも、庁舎前に観光関係のあれでというのはちょっと納得がいかなけど。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 防犯カメラとか、そういった分については、このたび温泉街の中に3カ所ほどするようにしております。それで、観光情報とかいろんなコンベンション情報というのは、観光の町である以上、やっぱり必要なものかなというふうに思っております。確かに下から上がってくるときの、車で走ってみましたが、距離と車のスピードと、位置的には十分伝わるものかなというふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 33 ページ、チャイルドシート購入助成事業、説明資料には新生

児というふうになってました。4月1日以降の新生児に対してこれは出されるということでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） そのとおりでございます。4月1日以降ということでございます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） ということは、3月31日は対象外。さらには4月1日以降の何人分のこれは予算が組んであるわけですか、75万は。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） どこかで区切りをしなければならんということで、4月1日以降になります。

それから……（「何人分」と呼ぶ者あり）何人分ということですが、大体新生児が平均的に50名前後ということでございますので、50名を予算化させていただきました。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 以前、貸し付けで、ちょっとまずかったという部分があるんですけど、それを反省されてこういう予算を組まれたということですか。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 前のチャイルドシートでございますが、平成12年から購入をして貸し出しをしております。基本的には3年間貸し出しができます。1回の申し込みで。3年後に返還ということになります。そういうふうにはずっとやってきたものですから、みんな壊れたり、それから汚れたり、いろいろして返ってくるわけですね。したがって、もう12年前ですから、安全性も問われますし、この際、子育てをする町、三朝町ということで、一挙にそれを廃棄をして、それで、新生児のお祝いじゃないですけど、子供を大切に育てる町ということで、助成金を1万5,000円で予算化させていただきました。

○議員（4番 福田 茂樹君） もう終わったか、3回。

○議長（牧田 武文君） 3回です。

ほかに。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 35ページ、地域おこし協力隊活動費、これはある種のコンサルと思うんですけど、どんな人を予定されてますか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 地域おこし協力隊ですけど、これは全国的に地域対策で国がやっておる制度でございまして、いわゆる首都圏、関西圏、中京圏というふうなところを対象にして、地域おこしの活動支援とか、それから農林業の応援だとか、住民の生活支援とか、そういった活動に、町の中に住所を移していただいて、最大3年間、住民となつていろんな活動をしていただくということで、本町では地域振興の部門と観光の振興部門に協力隊員2名を今年度設置したいということで考えております。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 一般質問の中でもちょっと言わせてもらったけども、町内でそういう人材というのはないだろうかと思います。国の資金でやるのはいいことだけでも、町内にもたくさん人材はおられて、観光とか農林業の方に携わっている方もおられると思うんですけども、そういう方と連携されたりとか、もっとそういう方を利用されるということは考えてないんですか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） おっしゃいますように、町内にも人材は、そういった方もおられますので、外部の方と一緒に活動されるということも効果という点ではすごく魅力というか、発揮できるものではないかというふうに考えております。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） ぜひそういう方と協力して、町政を進めていただきたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） 答弁いいですね。

ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 34ページ、町制60周年記念式典事業440万、多分1日の式典だと思うんですけども、なぜこれだけの予算が必要なのかお聞きをしたい。具体的にわかればその内容を含めてお願いします。

○議長（牧田 武文君） 山根総務課長。

○総務課長（山根 猛昭君） ことし11月1日を今予定しておりますが、町制の60周年記念式典でございます。内容といたしましては、被表彰者に対する記念品でございますとか、それから印刷製本費、式典の案内でございますとか、それから表彰状等の筆耕料、郵券代、そういうふう

なものを含めてこの予算を組ませていただいておりますが、一番大きい額といたしましては、一応被表彰者を80名程度予定しておりますので、そこで1万円程度のもをとということで、これが一番大きな額になっておりますが、あとは消耗品だとか、そういうふうな経費の積み上げでございます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 440万のうち一番大きなのが80万ということで、残りの部分の割合が余りにも大き過ぎるんですよ、課長。その内容を教えてください。積み上げたものの。

○議長（牧田 武文君） 山根総務課長。

○総務課長（山根 猛昭君） この式典に係ります職員の経費ということで、約15万円程度を計上しておりますし、あと報償費ということで、アナウンサー等々に8万円、それから、町長の所信にもございましたけども、県外の姉妹都市等の方に来ていただきたいということでございまして、その方々の招聘に係る経費として10万円、それからあと、表彰関係でございまして、用紙とか額縁代とか、そういうものを含めまして14万円程度、それから、来賓の方を含めまして約400名程度を予定しておりますが、400名の皆様方の昼食代等で30万程度、それから式典の印刷代、それから記念写真等々で30万程度を見込んでおるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 今の合計、187万です。残りを教えてください。80万入れて187万です。今計算したら。合わないです。

○議長（牧田 武文君） ちょっとしばらく休憩いたします。

午前10時25分休憩

午前10時25分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

山根課長。

○総務課長（山根 猛昭君） 済みません。後ほど一覧表を出させていただきますので、御了解いただきたいと思っております。

○議員（4番 福田 茂樹君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） 37ページの入湯税申告取扱手数料、これはどこに払われるんで

すか。

○議長（牧田 武文君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 三朝温泉旅館協同組合へ平成24年実績見込みに対し所定の率と郵便代を足したものを支払うものでございます。以上です。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 納税組合の補助金等々が削減されたということも含めて、やっぱり入湯税は当然の義務ですから、手数料を払うべきかなと思うんですけども、いかがですか。

○議長（牧田 武文君） 石原課長。

○税務課長（石原 伸二君） 納税貯蓄組合の助成金等は既に廃止しておりますが、旅館組合については現在も支払っている状況ですが、その支払い手数料をなくせということでございましょうか。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） だけえ一緒だら。カウントされるかいな。

納税というのは義務ですから、手数料を払う必要があるのかということですよ、旅館組合さんの方に。入湯税自体はいろんな形の中で、旅館組合さんとかいろんな形の中で利用されとるのに、またその上、収納のために入湯税取り扱いの手数を払うということがちょっと納得がいかなということ。

○議長（牧田 武文君） 石原課長。

○税務課長（石原 伸二君） 以前はですが、なかなか納期限内に申告納付等ができなかったような状況がございまして、昨年要綱を改正し、納期限内納付で完納になっている状態でございます。以前の場合は出納閉鎖前に急遽駆け込み納付、納入というのがございました。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 先ほどの山田議員さんの部分ですけど、地域おこし協力隊活動費ですが、全国的に非常に注目されている事業ですね。テレビ等々でも特集やなんかで非常に活動状況が報告されているようなものだと思いますけども、今さっき観光と何とかと言われました。2つと言われましたけど、できれば地域協議会の方と連携といいますか、それについてやはり強気に連携するべきでないかなと思うんです。吉田参事もどういうふうに思っておられるかはちょっとわかりませんが、その点についてちょっとお聞かせください。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 先ほど私の説明がまずかったかも知りません。観光と地域担当ということで、議員言われますように、地域協議会との連携というのは非常に大事なところだと思っておりますので、最初のうちは町の様子をわかっていただくということで、数カ月は役場の中でいただきますけど、それから地域協議会の仕事を主にしてやっていただくような体制を組むように考えております。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成眞君） ぜひ4月の区長会のときに間に合えば御紹介をいただいて、皆さんにいうようなことができればですが、皆さんに御紹介いただいて、活動がしやすいような状況をつくってほしいなと思っております。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 募集の時期が4月に入ってからということになりますので、区長会には間に合いませんですけど、そういう配置ができた段階で周知ができるように行っていきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成眞君） 吉田参事の方はどういうふうに考えておられますか。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 地域づくりの方では、先ほど企画観光課長が言いましたように、地域づくりの面でも1名という配置になっています。それで、あしたですけども、3月14日にそういった地域おこし協力隊の紹介とか、総務省から来られてそういったこともございますので、議会中ですけども、そういった方面に200名程度、県内から来られますので、そういったことも参考にしながら、地域の中でも取り組みをということで私は考えています。以上です。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1 1 番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） 34ページに災害時要援護者避難支援事業費、金額は12万6,000円ですけども、この事業は毎年継続されてる事業なんですか。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 委託費でございます。当初に町内で1,200名ほどの該当者がおられました。それを消防とか民生委員とかいろいろお世話になりまして、そのうち登録したのが355名でございます。その後はまた毎年消防団とか民生委員さんの方に新たにお問い合わせをし

て、それ以上の人を、1,200から350ですから、相当な人がまだうちの方に登録をされておられません。個人情報がありまして、幾ら自分が該当者であっても、おれはええわいやというようの方がかなりおられるということで、そういう人たちも登録をしていただくということで、この事業を進めてまいっております。ですから継続ということでございます。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） これだけの、1,200名の該当がある中で、実際登録が355名ですか。これね、こういった管理をしていく、情報管理をしていくことは大事なと思うんですが、私はむしろこういったことのをやっばり訓練といいますか、実際そういう訓練を、毎年やるのは比較的厳しいもんがあるけども、何年か間にきちっとやっばり訓練というか、そういう実態の実動を示さんと、いざというときの災害には間に合わんだろうなという、ただ管理しとりさえすればいいという問題ではないと思いますので、今後、そのことのをやっばり訓練に対するの検討を図りながら進めていくべきだと、こう思いますが、どうですか。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 毎年国民保護の訓練ということで、24年度は牧で行いました。そのときに警察とか、いろんな方々に協力していただくわけです。主は消防団でございます。消防団の訓練の中で、当然要援護者の方も出ていただきました。実際の援護者の方も出ていただきましたし、その援護者になっていただいて、車いすとか、そういう部分での訓練を毎年各地区で行っております。ですから、消防を中心ということでございますが、当然その集落の中の消防団はそういう要援護者の方を把握をしておりますので、ほかの地区等でも毎年それぞれの集落、全部に行き渡るといことはなかなかですが、訓練を行っております。現実にはそういう訓練をやっています。

○議長（牧田 武文君） 11番。

○議員（11番 杉原 憲靖君） やってるということですが、町内の地域を特定したという、そういう訓練の仕方もあるけども、そういうことから考えると、例えば三朝温泉の旅館とかいう、そういうやっばり特殊な営業されてる旅館業の、そういうあれを対象にするというようなことのもやっばり含めないと、地域ばっかりにこだわっていると、そういう全体像の、町内のそういう要支援の事業というのは、何ていうか、もう一つ充実できない部分があるのではないかなと思うので、その辺の考え方を聞いて、終わります。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） ことし2月だったでしょうか、職員を対象に訓練を行いました。

これは机上訓練でございますが、文化ホールの大会議室で。そのときに、今年度初めてその訓練の中で旅館組合の職員、観光協会の職員、参加していただきました。旅館さんの中でどういうふうな形で把握をされるかという、災害時にですね、そういうことを含めての訓練を行いました。これを充実させていこうと今後は思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 35 ページの下から3行目にあります文化ホール施設改修費、これカーテンウォールだということだそうですが、これは前、一部改修ということで、安全なガラスにかえられたという経過があるわけですが、現在は30メートル以上の風が吹いたら文化ホールと図書館は休館扱いにするということの対応をされておるということで、この間、委員会で聞きましたら、去年、24年度は休館ゼロ。これ、30メートル以上の風というのはどこではかられるですか。先ほど聞いたらわからんというような話だったけど、どこで30メートル以上吹いたちゅうのをはかられるか、まず1点目。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） 30メートル以上の風がどこではかられるかということでございますけども、これは鳥取气象台が発表する気象予報によって、そういった風が吹くではないかということからの判断と、あわせて町の教育委員会等を含めたところでそういったことを判断するというところでございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） なら例えば警報が出たりしたら休館扱いされるということですか。これは（聴取不能）てって言うけえ、それをまず聞きますけえ。

一応この対応については、委員会で否決された案件だと思うけど、委員会構成が変わらん中において、また同じ提案をされて、今度は全面改修。この間聞いたときによると、例えばカーテンウォール、改修しようとしとる、カーテンウォールにすると。隣のガラスについては安全だけ何にもせん。ほんで隣のガラスは網かけをしてあるけえ、網かけがしてあるということでも聞いたら、火災の関係で、文化ホールからの類焼を防ぐといったときに、飛び散らんようにという話であって、カーテンウォールと網かけの部分の間のガラスは安全だという認識がまずわからんですわ。この考え方が。

ほいで、前のときの委員会では、一応一番最初のときが、全部改修を検討したらどうですかという話をしたときに、一部改修をされちゃったということ、ずっとこれ尾を引いておるわけ

すね、この問題。ほいで、一番初めの基本は、30メートルに耐えられるガラス設定がしてあると。今回は何が原因でめげたかわからん。石が飛んでくらのたのだから、風でめげたのかわからんということであって、その辺からちょっと追求してかからんと、風が吹いたらめげるという認識は甘いじゃないかと思うけど、どうですか。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） カーテンウォールのガラス改修の件でございますけども、まずは他のところはしないのかという部分でございます。これは前回も委員会の中でお話しさせていただきましたけども、枠に囲まれているガラスであるということ、ですから一つ一つが固定の枠の中に挟まっているガラスであるので、それが1枚割れても全部に、ほかのところに飛び火というか、ほかのところに要するに連鎖的に割れていかないということでもありますので、こちらの方については修理をそのまましないということでございます。

それから、ガラスの割れた原因につきましてですけども、原因につきましては、専門家によりますと、やはり何か、飛来物が飛んできて割れたのではないかとということで推定をしておるようです。これは風がということか、飛来物がということか、100%風であるとか飛来物であるとかということは断定できておりません。よろしいでしょうか。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） だけえ、さっきの網かけと網かけでない部分の考え方はどがにだかって聞いたが。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） 網かけの部分については、建築基準法で網ガラスにするということで、法律の中で決まっておるということでございますので、それができておるということでございます。あとについては、要するに結論的には、網かけだとか網かけでないガラスということではなしに、固定された枠の中でガラスがはまっておるということで、交換の必要はないという判断をいたしております。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 警報が出たら休館にするかという話だが。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） 警報につきましては基準がございまして、倉吉地区では20メートル以上の風が吹いた場合が警報が出るということでございますので、警報が出たら休館するということではございません。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 何か全然答弁が、わけわからん話ばかりしなっただけどな、30メートル以上吹いたら休館にするという設定してあるなら、今、何を基準にしてきた、警報が出たらどうこうだかという話であって、警報が出たらとめるかと聞いただけ。

それからもう1点は、例えばこの前の委員会的时候には消防法の決まりでどうこうで、網かけにせないけん分とせんでもええ分という話したが、何だか。まんだ（聴取不能）しよるわいな。要するに図書館が焼けたときに、文化ホールに燃え移ったときに、隣接するところは網かけがあって、網かけで、その隣は関係ない。だけ、同じ文化ホールの中において、カーテンウォールの部分、それから何も無処理のガラスの部分、網かけの部分ってあるが。同じ棟であって、ほんで何でこがに違うかという話を聞いたら、答弁できなんだが。

座っちゃうと一遍で済んじゃうけえな。

それでな、根本的にな、言いなることがわけがわからんだが。ほいなら風が吹いても物がこれはめげんだったらええでないか、現状で。うそかいな。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） 最初の警報につきましては、まず、20メートル以上の風が吹く場合に警報が出ると。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 警報じゃない。休館の話だったが。休館。休館がどのように決めとるかというだがさあだけ。30メートル以上吹いたら……。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） ですから30メートル以上の風が吹く、これは、予報的に猛烈な風が吹くというような表現が出されてきております、气象台の方で。そういった風が吹くときが30メートル以上の風だということでございますので。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 警報が出て、猛烈な風、30メートル以上かや。わけわからんこと言うなや、おまえ。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） 警報が出るのが20メートル以上でございます。それで、その中で非常に強い風というのが20メートルから25メートル、それから猛烈な風が吹くというときが30メートル以上でございます。

消防法の関係でございますけども、建築法及び消防法によって、網かけをしなきゃいけないということで建物の基準ができております。それで、建物から外壁の中心線と、建物の中の中心線から5メートル、それから3メートルという基準の中で、網かけをしなきゃいけないということになっておりますので、それが適用されて、網かけができるということでございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 2点ほどありますけど、1点ずつでいいですか。

○議長（牧田 武文君） いいです。

○議員（４番 福田 茂樹君） では、３５ページ、防災行政無線デジタル化整備事業、今回、３４ページです。松原課長のところですか。６５５万、予備設計委託料、昨年は１，８００万の本設計までの予算を組んでおられて、結果としてできなかった部分を今回は予備設計の委託料ということですか。本設計まではいかないということですね、今年度は、なら。この２５年度は。それともある日突然また本設計の予算が出てくるわけですか、補正で。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 今回上げてます予算については予備設計の額でございます。したがって、予備設計が、今契約しておりますのが、２５年の１１月までに予備設計を上げようというふうに思っております。この予備設計が上がった段階で一つの方針が固まってまいりますので、その方針によってプロポーザルになるのかどうか、今の段階ではわかりませんが、そういう方針の中でプロポーザルならプロポーザルをかけるということで、プロポーザルにかけて、もう一つ上の段階の設計ができるわけですが、今度はその設計を実施設計に持っていくと。この実施設計は、今の段階では２６年の１月に予定をしております。したがって、プロポーザルが終わった段階で補正ということで対応させていただきたい。現在のところはそういうふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） ４番。

○議員（４番 福田 茂樹君） ２４年度は実施設計、即だった。今回予備設計にされた何か理由があるわけですか。それとも予備設計から実施設計に行くのはまた業者がかわることなのか。さらには昨年のこの予算のときに、非常に急を要すると、防災無線のデジタル化、それが２６年に実施設計ですか。１月に。おかしいんじゃないですか、それ。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） ことしの結果で実施設計がうまくいかなかったと。その反省に立って、そういうことは、二度と同じ轍は踏まないということで、念には念を入れて、この事業を進めてまいるということで、まずは予備設計をして、電波の伝搬調査等を行います。その中で、三朝町がどういう形の中で一番デジタル化が、どのスタイルがいいのか、この辺をまずかちっと決めてまいらんと、実際ぼんと去年みたいに実施設計に入っていくと、これができる、これができない、当然広島の本通の電波の許可なんかも含めて、そこの中で実施設計をやっていくということになれば、同じこととなりますので、予備設計である程度のを固めて、それから実施設計を行う。同じ轍は踏まないということで、慎重にしていきたいと思っております。予備設計の段階とプロポーザルの段階では、業者はかわる可能性がございますし、まだそのところははっ

きりをしておりません。

それからもう1点、急ぐという話でございますが、急いでおります、実際に。しかしながら、実施設計とかそういう部分に入る前にきちっと固めてかからんと、同じ轍を踏むことになりますので、急ぐ中でもちゃんとしたものを考えていきたいというふうに思ってます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 昨年実施設計までいった、途中までのものはないんですか。あるんでしょう、だって。どういう電波でどういうところに届くとか、そういう資料は全くないわけですか、今。

それから、先ほど言われました。急いどる。それは去年のこの本会議場で言われました。どうしても急ぐから、だから補正で10何億上げてくると、実際の工事までというふうに言われたんですよ、去年、この場で。それが念には念を押して、予備設計をして、これ二重投資じゃないですか、なら、予備設計というのは。違うんですか。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） まず、予備設計と実施設計というのは二重投資ではございません。予備設計であるものを、例えば電波の伝搬調査をしたら、これは実施設計に使います。ですから実施設計の中にはそれは含みません。

今までのデータの件でございますが、これは御承知のように、違約金的なものをいただいたと。これまで5月から契約をして、10月ごろまでいろいろ調査をしてきておるわけですが、当然この調査というのは向こうも、古い話をしますが、やりとりの中で、そのデータを持っています。データを持っていますが、そこのところともう決裂しましたので、そのデータを下さいというわけにはいきません。ですから、NTTデータカスタマーという会社なんですけど、そこでやられたものはすべて自分のところへ持って帰っております。ですから現段階のところは白紙でございます。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

○議員（4番 福田 茂樹君） 予算の話。もう1回。去年の3月での予算の話はどうなったかという。急ぐと言っておられましたけど。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 緊急を要するのは当然緊急を要しますが、予算も当然、今の段階でつけるということになれば一番いいんでしょうけど、大ざっぱな予算ということにはならないわけですから、したがって、予備設計をして、実施設計をしてまいりたいと。（「全然急いでない」と呼ぶ者あり）急いでるんですよ。急いでるんですけど、やっぱり同じ轍は踏まないということで、その辺をきちっとしたもので仕上げていかんと、予備設計をして、実施設計をして、

できたものがまた使えないようなものではどうしようもないわけですから、やっぱりそこには慎重を期するというで行っていきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 御了解いただきましたでしょうか。

○議員（4番 福田 茂樹君） もう終わりでしょう。

○議長（牧田 武文君） 終わりです。

○議員（4番 福田 茂樹君） 別の件。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 4番。36ページ、移住定住促進事業250万、去年は空き家バンクだったような気がするんですけど、今回は移住された方に対しての新築あるいは改築に対しての250万。空き家バンクが十分に機能したから今度はこういう形に持っていくのか。空き家バンクは消えちゃっとなんですけどね、今回。空き家バンクをワンクッションにしてこういう移住対策に行ったのかどうか。250万に対して上限50万ということでもありますけども、単純に考えれば5件ですよ。改修を含めて5件。これ以前にたしか300万ぐらいの何か移住された方に対しての新築にお金が出てた時期があったと、大分前に、そのときかなりのトラブルが生じたということで、こういう予算は組まないということで、以前聞いた覚えがあるんですけど、その点はいかがですか。

○議長（牧田 武文君） 吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 移住定住の件ですけども、先ほど議員さんおっしゃられたとおり、5件分を組んでいます。それで、空き家バンク事業というのはなくなったわけではございません。空き家バンク事業に伴いまして、空き家改修事業というのを24年度に組ませていただきました。それで、今回はその空き家の改修だけではなくして、移住定住者に対する新築、購入、それから空き家を賃貸借等されたり買われたりして改修をされると、そういったことに拡充をしたということでございます。他の市町村でも定住対策にはかなりの力を入れておられまして、上限100万とかやっておられる、智頭町とか若桜町とか、いろいろあるんですけども、本町といまして人口減少に歯どめをかけようと一生懸命頑張っておりますので、こういった予算を組ませていただきました。

それからもう1点は、議員さん、以前に3本立てでしたか、結婚対策とか、そういった事業がございました。それもちょっと見させてもらいましたけども、それからの経過はちょっと私も承知してないんですが、今回はこういうふうな予算を組ませていただいて、力いっぱい頑張りたいということで、組ませていただきました。以上です。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 例えばですね、町長がよく言われる、奥部から大瀬、本泉が出てこられたところの最終拠点で、何とか防波堤になっているという部分をよく言われます。こういう場合には補助金出ないんですよ、これ。そこの解釈を町民の方に理解を得ることができるんですか、これは。移住対策と言いながら。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 私のところでは今、移住定住対策ということで組んでおります。確かに議員さんおっしゃられるとおりに、他の町村でも人口流出を防止しようという別枠で組んでおられるところもございます。ですけれども、それはそれで大事なことだと私は思いますけれども、今回は町外から来られる方の措置をしたいということで、それで県外からの分については、市町村が持つ 2 分の 1 を県が補助金としてくれるということ、予算の範囲内ですけれども、そういったことを県の補助金を使ってもありますので、そういった組み立てをしております。以上です。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 町内の方の理解は得られるかと聞いとる。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 移住定住という観点からして、私は理解を得られると考えております。

○議長（牧田 武文君） 4 番。

○議員（4 番 福田 茂樹君） 例えば奥部から大瀬に出られた。家を建てられた。固定資産は入るんですよ、町に。単純に。新しい家を建てる。例えば地元の工務店を使う。地元が潤うわけです。そういう方に対しての、ならもう 1 本立てなきゃいけないんじゃないんですか、予算を。違いますか。定住政策なら。

○議長（牧田 武文君） 吉田参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） そういったこともおっしゃられるとおりでと思います。しかしながら、現実的に今回はこういった予算を組んでおりますので、何とぞ御理解をいただきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

しばらく休憩をいたします。再開を 11 時 15 分にいたします。

午前 10 時 58 分休憩

午前11時14分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

次に、民生費、40ページから46ページ、子ども手当費まで、質疑ありませんか。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 42ページ、一番上、社会福祉協議会への補助金。昨年の予算書を見てみますと、積立金がない。今回、積立金があるというふうになってます。ことし何か、たしか以前のあれだったら、毎年積み立てていくようなイメージを持っとったんですけども、私が昨年見落としたのか、見落としてる実態の中で、今回また予算説明資料の中で書いてあるという。これは続けていくもんなんですか、この120万という積み立ては。

○議長（牧田 武文君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 社会福祉協議会補助金の中の積立金のことでございます。これまでの基金積立金の残額がかなり積み立てておりましたが、平成25年度、大きな改修が必要なものがございまして、そのために積み立てを行うものでございます。

○議員（4番 福田 茂樹君） だからずっとするのか。昨年はなかったと。なぜなかったのか。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 議員がおっしゃるように、平成23年度及び24年度、積み立てはしていませんでした。これは、先ほど申しましたように、残額がかなりございまして、積み立てることは不必要であろうというふうなことでございましたが、25年度、今回お願いをしているものでございます。

今後これが続くかどうかというふうなことでございますが、これも基金積み立ての残額とあわせて、それからさらに改修の必要なものが幾らあるのかというふうなことも踏まえて、そこを検討をさせていただくことになると思います。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 25年度に大きな改修があるということでありました。23、24、極端な話、社会福祉協議会自体が年間1,500万からの赤字等で、基金をどんどん取り崩していった部分、だから積み立てでなかったんじゃないですか、要は。23、24年は。決算では赤字。さらに、今、かなりの金額を積み立てたと言われましたけど、その金額がわかれば教えていただきたいというのと、120万を基金で積むということは、以前から、必ず改修が出てくるからお互いが積みましようという説明の中で始まった基金だと私は認識していますから、今後こういうのが出てくるからというのではなくて、毎年積み立てていくという認識をしたわけです。だけえ答弁が少し違うような気がするんですけど。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 予算査定の関係もありますので、私の方から少し説明させていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

議員御指摘のように、平成23年、24年は積み立てをしておりません。手元の査定のときの資料なんですけれども、平成22年度末で約320万ぐらいの残高を持っておりました。23年のときに、じゃあどれぐらいの基本的な修繕等、大きな修繕があるかといったときに、そういうような該当項目もございませんでしたが、今度は24年について、いろいろな修繕が必要なもの、大きな修繕というのの要望が出てまいりました。そういったところで、24年度に使われたのが約150万というような額がありまして、そうすると、今度、25年度の予算の査定のときに、またボイラーであるとかというような要望がありまして、今度はそのときの部分に対応できるように、基金をお互いに持ち寄ってやろうじゃないかなということをお話しさせていただいて、今回の部分で予算を上げさせていただいたということでございます。

議員おっしゃるように、定期的に積むんじゃないかなという、決まったルールというのは持っていないというのが現状でございます、やはりこの基金では足らんような事例も発生するかもしれません。そういったときに、いろいろ御相談させていただきながら、なくてはならない施設ありますので、柔軟に対応させていただきたいなというふうに思っております。よろしくお願ひいたします。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 以前に改修が必要になったときにこの積み立てが必要だという説明をされて、毎年積み立てていくという説明をされたんですよ。何か今、方針転換ですか、これは。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 残高を見て、その部分を持っておくだけが能のあるものじゃなくて、生きた資金として使われたいということで、残高を見ながら、23年度ですか、24年度については積み立てを一時期中断したというようなことでございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 同じ項目で質問させていただきます。

今、指定管理、いろいろなところを出されておるわけなんですけれども、指定管理に出されたときに、例えば大きな修繕があった場合は町が修繕するではないですか。まず1点目、それ。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 指定管理に出した際の管理に関する協定書の中でございます。

この中に、管理施設の改修等の中で、修繕については、町と、それから社会福祉協議会とが協議の上実施するものとするというふうなことでうたってございます。そのような中での今回のお願いでございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 今、町と協議してという話なら、積立金というのは必要ないじゃないかというふうに、まず1点目。

それからもう1点は、出された場所によって、例えば保育園でもどこでもいいわけですが、そういう場合も何か、前ちょっとある人に聞いたら、協議の上修繕するという話だった。大体指定管理に出される場所によって契約内容が違うわけですか。町長に聞きます。（発言する者あり）町長に、ほんなら。

○議長（牧田 武文君） ちょっと待って。だれ。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） だれでもええ。おれ知らんわいな。

○議長（牧田 武文君） なら大村財務課長。（発言する者あり）

吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 副町長が社会福祉協議会の役員に出て、いろいろ協議をしておりますので、副町長から答弁させます。

○議長（牧田 武文君） 副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 修繕のことにつきましてのお尋ねがございました。社会福祉協議会に関することにつきましては、先ほど財務課長等が答弁したとおりでございます。例えばほかにも賀茂の保育園とかの修繕の問題もございますけれども、協定書の中では、賀茂の場合は例えば小規模なもの、大規模なものというふうな形でのことで、大規模なものにつきましては町の方がそういう修繕を行うというふうなことで、協定書の別の決まりの中で、そういうふうな仕分けをしております。ですから、金額が幾らとか、そういうふうな細かいことまではやっておりますけれども、基本的にはそういう整理をしながら、あとは個々の事例によって、双方で協議しながら対応を決めていくというのが町としての考え方でございます。以上でございます。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） まだ、まんだまんだ。だけ、その協定書は場所によって違うかって聞いただ。出した施設ごとに違うかって、答弁してくださいな。

○議長（牧田 武文君） 続けていいです。

○副町長（森脇 光洋君） 細かい部分につきましては、書き込んであるか書き込んでないかということはあるかもしれませんが、基本的な考え方はさっき申し上げましたとおりでございますので、その辺のことにつきましては、また改めて全体的にちょっと精査をしてみたいというふうに思います。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 今答弁いただいたですけどね、協議ということが入るとるだったら、さっき言った社協も積立金要らんじゃないかという、修繕しなったら、積み立ては。必要なときに町と話して、社協が金がなかったら町が全部負担して直すとか、大きな事業ですよ、というような話にならへんですか。それから第一、指定管理に出すのに場所場所によって違うというやり方はおかしいでないか。指定管理だったら同じ条件で出すのが指定管理だというふうに思うけど、その辺、認識の違いでしょうかね。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） まず1点目、協議ということについては、どちらがどのように負担するかということの協議でありまして、そのことと、修繕なり改修するための財源をどのようにして持っておくかということとは別のちょっと論点になるのかなというふうに思います。

それから、もう1点のこと、場所によって指定管理が違うということにつきましては、例えば賀茂の保育園の場合ですと、もう施設全部がその部分の保育園業務に値するということ、それから一方で、社協さんをお願いする部分につきましては、社会福祉の面についてお願いする部分と、それからデイサービス等の事業に供される部分というようなことで分かれる部分もありますので、それぞれによってやはり協定の見方というのは違ってくるのかなというふうに感じております。

○議長（牧田 武文君） これは答弁は財務課長がする答弁でない。そがんことすりゃあ担当課長が要らんようになっちゃう。今後気をつけてください。

ほかに。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 4 5 ページ、みさきこども園ですが、運営指針と運営方針とか、できているのかどうか。できていればその内容について。

○議長（牧田 武文君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 新しいこども園につきましての運営方針等ができているかということでございますけれども、既に幼児教育、そして保育の部分について、教育委員会、教育委員さ

ん等とも連携をしながら方針を固めました。方針について、一番の方針は、まず生きる力を学ばせるというのを主眼に置いております。そのほかには、幼児教育の部分と保育の部分を兼ね合わせた教育ということで、三朝の地域のよさを知るということ、また、自然の地理的条件を生かした保育をしていくということ、そのようなことを主眼に置いて作成をしております。以上です。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成眞君） 昨年的一般質問の中で町長が、運営指針、運営方針については、その都度議会にお示しをしながら、相談しながらやっていきたいというような答弁だったと理解しております。いつ議会に出されますか。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） その件につきましては、前回の12月のこども園の条例改正の設定のときに当たりまして、常任委員会等にはその内容について既にお知らせはしております。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成眞君） 常任委員会に出されているということでもありますけど、生きる力とか教育委員会との連携だとか、ぜひ委員会以外の議員にもお示しをいただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 新しいパンフレットもできましたので、また紹介をさせていただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 45 ページの上から5行目か、過疎地域園児送迎事業ですけども、例えば東保育園の園児の送り迎えができん人に対しての通園助成だと思っわけですけども、これ、ちょっと考え方がおかしいじゃないかと思う。希望される人だけに助成して、例えば東保育園に何人園児がおられるかわかんけども、統合してそこに通うために、そういうのは、必要ない人は関係なしで、必要な人しか助成せんちゅう考え方なんですか、これ。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 今回のこども園の建設に当たりまして、特に東保育園に通っておられる保護者の方に対しての大きな要望として、送迎への対応ということがありました。原則、保育園への送迎につきましては、保護者の方で対応していただくというのを原則にしておりますけれども、激変緩和ということから、そういった送迎を町としても対応しようということで、あくまでも試行ということで対応を今回考えたところであります。

希望者の方についてということにしておりまして、全部の方、いわゆる希望された方については若干の個人負担を会費という形でいただいているということでありますので、特にそこで説明したところ、東保育園の皆さんからも、それに対しての特段なそれ以上の要望というのはございませんでしたので、こういった形で1年間、試行という形でやっていきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに送迎のマイクロバスだか何か知りませんが、送り迎えするバス、マイクロでもいいですけども、その起点は多分、前の保育園あたり、農協の三徳支所前からの発着だろうと思うだけでも、それまでは連れてこられるわけですね、例えば保護者が。それで例えば波関越えて東郷に行かれるけバスに乗せなよう送らんとかということもあるし、歩いて連れてこられる方等もあると思うだけでも、場所によって問題が生じらへんかと思うんだな。例えばおばあさんやおじいさんがおんなって、三徳センターまで迎えに来れる時間帯におられる方はええけども、おられん方は延長保育という扱いになるわけですか、これ。そしたら、延長保育になった場合は、保護者が園庭まで迎えに行かんと、多分バスは何遍も走らんとしますし、そのようなことは考えとんなるですか。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） あくまでも今の東保育園の場所までの送迎、以降の、それまでの部分については従来どおり送迎をお願いしたいということで、保護者の方をお願いしております。ですので、いろんなパターンがあるかとは思いますが、そこまでは保護者の責任で送っていただいて、それ以降の新しいこども園の場所までについては、希望があれば町の方で送迎バスを運行しますということであります。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 私が単純に考えるのに、送迎が困難と言いながら、例えば車で、どこから来られてどうせ認識しとんならん、どこから来られる子供が保育園まで乗られるというのは多分調べとんならんと思うけえ、多分そこまでは、例えば片柴の人ばかりなら歩いてでも送ってこれるけど、よそから来られる人は車に乗せて、三徳センターなりJAのどこまで来ないけんという段階だと思うんだな。そしたら、そういうことだったら、ある程度通学助成というか、通園助成という格好で配布することによって緩和というのは考えられんですか。別に7人、8人、人数はそのくらいだというような話を聞いただけでも、その人のためにこれだけの費用、この人のためという言い方は悪いけども、それなら全対象園児、例えばそれにも助成するべきでないかと思うんだな、激変緩和と言いなるんだったら。要するに距離が延びることだけえな。

東保育園からみささこども園までの距離が延びるけえ、送り迎えできんという人もある。そのためにバスを使いなる人もおるだけども、その人たち全員に、対象者全員に助成することが平等だと思っただけど、うそだかいな。七、八人が困難だけえ、この人だけ緩和すりゃあええという認識ではおかしいと思いますけど、ちょっと答弁を求めます。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 一つの方法として、今、議員が言われるようなバスへの助成というようなことも考えられるとは思いますが。当初言いましたように、今、町の方針としては、あくまでも保育園までの送迎は保護者の責任で、どの保育園に行かれる場合でも同じようにしていただきたいと言っております。ただし、今回の激変緩和の措置ということで、こういったバスの送迎というのを考えたわけですが、あくまでも試行ということでやっておりますので、東保育園に行かれています方であれば、希望していただければ、同じように送迎の対応をしますということで上げた結果がそういった8人程度の人数だったということでもあります。距離は確かにほかの方については遠くはなりますけれども、そこはほかの園との兼ね合いもある中で、御理解を保護者の方にはいただいているものだと思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 45ページですけどね、保育施設維持修繕費、説明資料の方でも、61ページですけども、保育園等の修繕の方で、竹田保育園等の畳の張りかえとか、いろいろのところで、今後、竹田保育園の方針ちゅうか、それも含めて、竹田保育園のフロア、中とかそういうところも一定どういう状況かちゅう、保育園の園ですね、どのような状況かということも把握されておるのか、そこら辺、ちょっと2点ほどお伺いいたします。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） まず、竹田保育園の今の施設の状況でありますけれども、何回か保育園の方にも行って見させていただいておりますし、園長等からも今の現状についてはいろいろ話を聞いておるところであります。

それと、今後の竹田保育園の方針といいますか、あり方についてでありますけれども、人数は少ない中で、現在、町営ということで保育園を運営しております。これからの人数の状況、今後の状況、また地域の声、それも兼ね合わせた上で、これからの方針は出す必要があるかなというぐあいに考えておまして、これからそういったものは、順次どうやっていくかという方針は出していこうというぐあいに考えておるところであります。

○議長（牧田 武文君） 2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 今の状況が御存じのとおり、見てのとおりだと思うけど、中のフロアでもガムテープが張ってある状態なんです。それ知っておられますかいね。それでね、やっぱりお金を出して子供を預けとる以上、賀茂保育園にしてもこども園にしても新しくなる中で、いつごろぐらいまでに竹田保育園をどのようにされていくという、新しくされるのか、下の方に出一緒にされるのか、そこら辺も含めてちょっとお答えをお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 現在、いつまでということは、ちょっと私も申し上げることはできませんけれども、これから、ちょうど子ども支援法という新しい法律ができました。これに伴いまして、子育てについての計画をつくる必要が出てきております。それにあわせて地域の要望なり保護者の方のお話のニーズ調査というようなことが今年度の中に予算計上しております。こういったことを組み合わせて、その計画書を策定する中で、そういった竹田保育園の将来のあり方についてという方針も出していくべきかなというぐあいに考えております。

○議長（牧田 武文君） 2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） ぜひとも竹田保育園のことを検討していただきますようお願いいたします。

それで、フロアの方だけど、早急にでもね、畳だけでなしに、やっぱりフロアの全面改修、ホールのね、廊下を含めて、それもやっぱり早急に対処していただきたいと思います。そこら辺をちょっと早急にできるのかできないのか、そこら辺も含めてお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 小椋課長。

○町民課長（小椋 泰志君） もう一度現場を再度詳細に見させていただきまして、また検討させていただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、衛生費、46ページから49ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

質疑なしと認め、進行いたします。

次に、農林水産業費、49ページから55ページ、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 50 ページの三朝米ブランド化支援事業について質問をさせていただきます。

今、4 年目になると思うわけですが、この特裁助成、ほいで、新たにことし、きぬむすめを 10 ヘクタール追加するという考えだというふうに思うわけですが、これ、特裁としての、例えば堆肥助成まで今回されるという計画になつとるわけだけでも、この認識、どういう考えでされるのか。近年、特裁米で、去年はゼロ%、1 等米、前年度もそがにごつつう高いんじゃないかという認識しとるわけですが、やっぱり 1 等米でないと、特裁扱いとして業者に販売するときに高い値段で買ってもらえんちゅうことはわかっとりますかいな。だけ、何遍も一般質問でするわけだけでも、だけえ夏場に強い品種で 1 等米になる品種に更新するということを考えたらどうだということを言っとったときに、きぬむすめがたまたま特 A になったというのが 2 年続いたと、それで急遽、これも特裁に加えたという格好だと思うけど、その辺ちょっと説明してください。堆肥を助成する意味。大体普通、全農家が堆肥を入れてつくるのがコシヒカリの栽培暦に載っておるわけだけえな、JA のあれには、この分だけに堆肥を助成するか、ちょっとそこもあわせて。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） お答えいたします。

三朝米ブランド化支援事業ということで、今年度はきぬむすめの部分も一応奨励金を出すということで入れさせていただいております。その中で、去年、コシヒカリが議員御指摘のとおり 1 等米が 5% というようなことで、ほとんど 2 等米以下というような状態でした。それで、特裁米もやはり、コシヒカリも 1 等米の生産に向けて、指導等も強めていかないけんということで検討会も持っておるわけでございます。それで、きぬむすめは一応特裁米という扱いではないんですが、1 等米、コシヒカリ、また 1 等米のきぬむすめに奨励をするということで今年度はさせていただきます。

それで、特裁米の部分の今まで奨励しよった部分というのが堆肥を使った土づくりの促進ということで進めとった部分を 3 分の 2 の堆肥を助成ということで入れておりますので、この部分は特裁米の部分の助成ということで考えさせていただきました。

そういうことで、おいしい三朝米ということで、販売も含めてどんどん進めていきたいと思しますので、協力の方もよろしく願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに、特裁米、この説明資料によりますと、コシヒカリが30ヘクタール、プラス10ヘクタールというのはきぬむすめという認識だと思うんだけど、それなら下の堆肥のところも40ヘクタールにしていなきゃいけないかと思うんだけどな、きぬむすめとコシヒカリを対象とするなら。面積10ヘクタールの差って、これは何だいや。

それで、今、1等米比率が落ちとるちゅう話の中で、普及所とどうこうで、栽培研究とか言いなつたけども、去年も高温時に水田の水の垂れ流しということで、温度を冷やすことをして、何ぼ努力しても2等米だったという実例があるんだな。そういう中において、将来、コシヒカリが1等比率8割行くちゅうことは到底考えられんんじゃないかということですと質問しとるわけだけど、そういうのをいっかな検討されとらんということじゃないだかいな。だけえ日本全国いろんな品種があつて、高温に強い品種というのいっぱい生まれとる。その中において、コシヒカリ、特裁にしちやつたけえ変えれんということになしに、4年目にもなつて成果が上がとらんじゃないですか。販売面に対しても。販路もよう確立しとんならんし、高売れたつて市場がない。個人で売られる方がたまたま特裁米として高に売れる程度のものであつて、特裁の人全部に恩恵が当たとらんがないな。実際知とんなるだろうと思うけど、物すごい労力をかけながら、余分な手数をかけながらつくつて、2等米で、1反に7,000円もらつて、ことしは堆肥が1万2,000円が8,000円補助してもらえて、これじゃあメリットがないと思うし、ふえんと思うのだが。そしたら農家はある一部の人しか恩恵を受けれんし、みんながよくなるという方法ではないが。その辺はやっぱり全体がよくなる方法で予算というものは計上してもらわんと、一部だけよけりゃあええという考えではいけないと思うんだけどな。三朝町の農業もたんと思うんだけど。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 最初に、堆肥を使った土づくりの部分の30ヘクタールの部分ですが、この特裁米というのはあくまでもコシヒカリということに限定しております。それで、コシヒカリ部分の30ヘクタールについてでございます。きぬむすめの補助については、堆肥の助成というのは考えておりません。

それと、先ほどコシヒカリの要は品質向上に向けてのお話ですが、やはり去年は異常な高温ということで、日本の中でも鳥取県というのも特に高温だったということで、例年の温度なら比較的、6割程度の1等比率になるわけなんですけど、去年につきましてはそういう状態。また、7月上旬から9月の中旬にかけて温度が二、三度上がっております。やはりその辺の部分で作付時期を、年にもよると思うんですが、作付時期をちょっとずらすというようなことも農協とも話をしながら、その辺の検討を加えておつて、何とか1等米比率を高めていくような施策もいろいろ話

の中で農協と協議しておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 今、専門家が言いました。コシヒカリ、等級つけな売れるって。特裁米で。わかる。だけえ、この間、おいしい米品評会でもな、2 等米の品評会のお米比べだら、食味比べだ。言い方が悪いかもしれんけども、そういう認識をしました。

それからもう 1 点、ここの書き方によるとね、特裁米、コシヒカリ、きぬむすめと書いてあるだけえ、どっちも特裁だと思って認識して読んだだけど、これなら欄変えないけんじゃないかいな。助成品目は特裁米のあれだけ堆肥を助成と書かんと、これ、括弧でくくってあったら同じ扱いだというふうに認識して見るだけどな、おれは。

それから、米の栽培、努力して、去年は 5 % で、ことしはなら 6 0 % になるちゅう確率はあらへんと思うで。多分、地球温暖化傾向で、だんだんだんだん夏場の温度が高あなってきたて、1 等米が 5 割、6 割出るちゅう、こがな答弁しなったら困ることにならへんかと思うけど。認識甘いことないか。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 1 等米品質向上の部分で認識が甘いというのはわかりますけども、その中で、やはり 1 等米比率を高めていくという部分はやっていかないけん部分だと思いますので、その辺の皆さんの、また周知したり、その辺の栽培方法等もいろいろ皆さんにお知らせしながら、いい米をつくっていく努力をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 5 1 ページの鳥獣被害総合対策事業です。3 年間のことしが最後の強化期間となっておるようでありまして、2 年間の成果と実績、そして農業委員会の方の所見をちょっと伺いたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） 山本農業委員会会長。

○農業委員会会長（山本 雅之君） 鳥獣被害対策の件ですが、かなりの部分で町民の方、頑張っただいてまして、被害の方もかなり減ってるという声をいただいております。ことしについても最終年として上がっているようですが、かなりのまだ残りがあるという話も聞いてますので、できる限りこれは伸びればいいなという感想は持っておりますが、何とかことしの事業の中で進められるものは多いと思ひますので、期待しておるところでございます。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 成果と実績を。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 成果であります、鳥獣対策事業ということで、県の事業と国の事業ということで、2 本立てで進めております。それで、侵入防止対策ということで、ワイヤーメッシュ、また電さく等の設置をしております、去年も国の事業で延長 30 キロ程度行っております。それで、県の事業で鳥獣奨励金というのをを出しております、去年、イノシシの部分で 200 頭ぐらいの捕獲がありました。シカにつきましても 30 頭というようなことで、捕獲の方についても上がってきております。それで、防止さくを入れた部分に関して、やはり農地へのイノシシ、シカ等の、イノシシは多かったわけですが、シカの侵入等はいまだに少ない状態です。イノシシの侵入はかなり減ってきておると思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 随分と話を聞くに、困っておられる方々がおられると聞いておりますので、ぜひ本年度、重点的な取り組みをしていただきたいと思っております。以上です。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 50 ページの下段の方にあります地大豆生産振興事業という項目が上がっておりますが、今、イソフラボンの多い大豆ということで、神倉大豆、有名になりつつあって、生産量が消費に伴わん、どんどんふやせということでありますが、30 万円ほどの予算。この間、研修に行かれたときに聞かれたと思うわけですが、要するに大豆というのは連作障害で、2 年ほどつくったら場所を変えないけんという話の中において、それを解消するためには 2 トンぐらいの堆肥を入れりゃあ連作が可能だという話も認識しとんなると思うだけ、要するにこれを大々的に売り出そうというときに、消費に生産が伴わんという段階ではおかしいと思うんだな。こういうのをもっとどんどん奨励すべきと思う。特に言いたいことは、今、奥部が荒廃農地化しつつあるところにすれば、水は要らんわけですから、これ有効活用して、今あったイノシシのさくでも張れば十分可能だと思うわけですね。そういう対応をどんどんされるべきであって、特裁米のコシヒカリの堆肥助成よりもこっちの方が大事だと私は思うけど、要するに。

（発言する者あり） こういう考え方をされた方がええでないかという意見ですよ、私は。

それで、要するに今、大豆、315 円ぐらいですかね、キロ単価。豆腐 1 丁が 350 円。いろいろ助成金がついて、言いなつたように 1 反 7 万ぐらいになるという話だけでも、今の現状か

ら、面積が伸びんというのは、もうちょっと魅力があったら生産者も手を出すけど、夏場の暑いときに土寄せしてえらい目せないけんけえ、それだけしてこれならせん方がええわいというのでやめなるのか、伸びんのが何か原因があるんだな。だけ、ある程度の量が確保されるまでには、思い切った助成をされると、何だ、ほんにええな、それはしてみようかという気にならんと思うのだが、そういうのをされんと。その辺もって検討されるべきじゃないか思う。どうですか。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） ただいま大豆の振興の部分で質問いただきました。確かに今年度、7ヘクタール、24年度ですね、7ヘクタール大豆を生産したわけですけども、今年度、やはりふえるのが3ヘクタール程度、3町歩程度ふえて、10ヘクタールぐらいの細目書では今はじいておるわけですけども、ふえん原因というのは、やはり米の生産の方をどうしても農家の方は優先される部分があります。ですからどうしても戸別補償等も大豆の振興ということで、産地かさ上げ等を行って、推進しておるわけなんです、そのあたりのふえない部分というのもいろいろその辺の米づくりを優先されてという部分がどうしてもあるのではないかとということでは思っております。

それで、今、どうしても夏場のあぜ、草取り等の部分が大変だという部分もあるでしょうけども、話の中ではやはり除草剤も大分いい時期的なものもあるようでして、草取りも余り要らないというような部分も、いろいろそのあたりも皆さんにPRをしながら、生産振興をまた図っていきたくて思っております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 2回目やな。

○議長（牧田 武文君） 2回目。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要するに、昔、ブロックローテーション的に団地化の転作しよったですな。ほいで今でも集落に減反割り当てが行かんかいな、多少。行かんなら行かんでいいです。それで、要するに大豆も水田の間につくったっていけんわけだけえ、水を嫌うわけだから、ある程度まとめんとつくれんちゅうのもあるだと思っただんな。ほんで、要するに米の2等米つくるよりも大豆つくった方がもうけがええぞちゅうぐらいの助成をすれば、つくられる人もできるということを言っとるわけだ、おれはな、本当の話が。その辺の、もうちょっとな、何とか考え方を変えないけんというふう思う。

それからもう一つ、この間、農協の地区座談会、地区説明会か、座談会のときに言われとった、女性会の方がみそをつくりたいけど、その大豆を使って、足らんけえやめてごせという組合長

が答弁。あれもおかしな話で、やっぱりいろんな品目で売り出すちゅうことが大事だと思うけど、生産量が足らんというような状況ではな、話にならん。町長もいろんなことでPRしなるけども、言いなることとしなることがな、離れとるじゃないかとおれは思うだんな。いかにして生産をふやす努力をするか、それは何かといたら魅力がないといけんということですよ。だけ、ある程度の、これだけの規模、面積、量は達したという段階では落としてもいいけど、それまではごっつい助成すりゃあすぐ飛びつくけえ。そういうふうと思うけど、町長、答弁ひとつ、課長では物足りんけえ、町長の答弁をお願いしますわ。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 私もことしは大豆をつくります。それも地大豆をつくります。やはり量がそれなりに確保できないと、納豆が商品化できた。豆乳も商品化できた。豆腐は1丁、これだけの値段でも飛ぶように売れとる。しかし、やっぱりパイが少ないといけないというふうに思いますので、力強い助成をしてでも、補助してでももっと栽培面積をふやせと言われる議員の御意見をありがたくいただいて、頑張ったいと思います。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 終わります。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） グリーンサービス運営補助金、この補助金の経緯というのは、る最初からの部分はわかってますけども、グリーンサービスも発足して20何年かたつわけですけども、再三町長の方にもグリーンサービスの改革ということの中で言ってきたんですけども、一昨年町長がグリーンサービスの社長になられて、そこは変わったかなという程度で、程度という言い方はおかしいけども、グリーンサービスという部分が、今、三朝町の農業にとって本当に必要な位置づけになってるかということを町長の方にちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 非常に大きな役割を演じておるという認識をいたしております。まずは田んぼがつかれなくなった人の代替の役割をきちっと演じているということですね。そしてその努力も本当に報われてきているなという思いで、頑張ったださっている皆さんの努力をたたえたいと思っています。これは中山間地の農村が、田んぼをつくる人がいなくなっていく。そういう状況の中で、委託をして農地を守ることができたらという地権者の願いに沿っているというふうに思っています。ですから、際立って特徴的な、大々的なことをこのようにやっているということはないわけでありまして、やはり整然と稲が植えられて、そしてそれが刈られて、商品

化されてという経緯を一生懸命わずかなメンバーで努力をされております。この今の現状を町も助成をしながら来てるわけでありまして、米そのものに対する国の施策が、JAが前面に出ている状況から、それぞれの自治体の首長が前面に出なければならないという政策転換の中で、現在社長を仰せつかっておりますが、このあたりについては、役員の皆さんとも今後御相談をしておかねばいけないかなというふうにも思っています。適任者があれば、大いに努力をしていただきたいという思いを持っています。グリーンサービスが長い歴史を持って今日まで来てること、ぜひ御理解いただき、今後ともに御支援を賜りたいと存じます。

○議長（牧田 武文君） 6番。

○議員（6番 平井 満博君） 貢献しとるという部分はよくわかりますけども、20年経過の段階の中で、認定農業者という制度が国の中で決まってきた、その中とバッシングというか、やっぱりそういうことをやると。ただ三朝の第三セクのグリーンサービスに500万。なら認定農業者はもうそういう貢献はしとるんですね。そういうことの中で、やっぱりもうちょっとグリーンサービスというのは経営改革をしていかんと、育つ人も育たんということも生まれてきてます。そういったことも含めて、役員会が年に何遍されとるのか、私もわかりませんが、議長と、それから農業委員長さんが役員におられますけども、やっぱり公共性という部分をもうちょっと密に考えて検討されるべきではないかという、私からいったら、今はもうグリーンサービスの時代は終わったなという気はしておりますけども、町長の本当に改革というか、グリーンサービスを本当に三朝町の中で有効に動かすという仕組みが今頭の中にあったら、一言でもちょっとお願いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 年間に1億円近い売り上げを行っている道の駅、この道の駅の周辺に一つはナシ、それから一つはイチゴ、こういったことも行っています。そして、近くで木工センターを衣がえをして、縁満（よりみち）という食事を提供するところをつくっているわけでありまして、観光地の三朝町にとっては非常に極めて大事な部分かと思っています。この田んぼの委託を受けての米づくりとあわせてやってるわけでありまして、こういった田舎としてのありようを考えると、いい役割を演じているなというふうに思っています。これは観光客等の評判も時折話を聞いている状況もございますが、全国の道の駅そのものというのは非常に大きな成果を上げてきていると思っています。そうした中の鳥取県で第1号であったわけですが、この道の駅。そういった歴史を踏まえてきておられる状況の中で、だめだという評価そのものをなさるということには私は至っていない、非常に大きな役割を演じているというふうに思っています。

以上を申し上げて、ぜひ御理解をいただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 6 番。

○議員（6 番 平井 満博君） 道の駅とか縁満は、農協ですよ。グリーンサービスは、今、そこにタッチしてないんですからね。ただ、今、私が言っとるのは、やっぱり営農の部分、米づくりの部分の中で、グリーンサービスは認定農業者とバッシングしてるんだから、そういう部分の中の調整役としてグリーンサービスはあっていいんじゃないのという思いもありますし、三朝のブランドを販売する一つの組織として、流れる方向を検討していくということも大事ではないかということです。今、町長が言われたのは、以前のグリーンサービスが縁満というか、道の駅というのは官で運営してましたけど、その立場がもうなくなっちゃったんですよ。だから営農だけなんですよ。その部分をどう改革されるか。認定農業者とのバッシングの部分をどうグリーンサービスが受けとめて改善していくかということを役員会で議論してくださいということ。でないと、私は、この500万をグリーンサービスに出す必要はないということを今言っとるんですよ。

○議長（牧田 武文君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 議論はしてまいりますが、御理解いただきたいのは、ナシ園はグリーンサービスでやってるんですよ。これは農協ではないです。このあたりは御理解いただきたいと思えますね。これは結構売り上げもとても高い率を占めてる部分なんです。やはり箱詰めにして市場へ送ってという、そういう経緯をとりませんから、実際に立ち寄られた人に対して売っていくという自家販売の状況でございますので、そういった全体的な経営の中に大きな役割を演じています。今後ともいただいた御意見、協議をしてまいりたいと思います。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 53 ページ、林業総務特別経費であります。102 ページですが、5月25日に大規模な大会があるということであります。アトラクションの部分の小学生による合唱で25万円弱ついておりますが、合唱で25万円というのはどういう経費なんでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 5月25日に林業後継者大会が開催されます。そのオープニングアトラクションということで、町内の新6年生全員による合唱を考えております。それで、合唱団の衣装等も含めまして、統一した衣装をちょっとそろえたいと思っておりますので、全部じゃないですけども、衣装を考えて、その衣装代も含めております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 衣装 1 着何ぼの衣装を考えてますか。衣装って、やっぱり統一した衣装でないと合唱できないということなんですか。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 済みません。ちょっと今、衣装の資料がございませんので、また後ほど衣装の額を含めて、どういうものかということをもっとお知らせしたいと思います。済みません。

○議長（牧田 武文君） じゃあ休憩しますか。（発言する者あり）これで休憩ということですよ。再開を 1 時 2 0 分にします。

午後 0 時 0 8 分休憩

午後 1 時 1 9 分再開

○議長（牧田 武文君） そういたしますと、再開いたします。

先ほどの答弁に対して、岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 失礼いたします。林業後継者大会のアトラクション、小学生による合唱の部分につきまして、予算組みを教育総務課の部分でやっていただきましたので、お願いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 清水議員の 2 点の質問にお答えいたします。

1 点目は、どのような制服なのかという御質問でございました。女性はスカート、男性は半ズボンで、ブラウスと靴下等々を考えておまして、1 人おおむね 5, 0 0 0 円の計算をいたしております。4 6 人の、今、5 年生、新年度には 6 年生になりますので、その 4 6 人分、小学校 3 校の全 6 年生でございます。今、各校で授業をしながら、新年度には合同で練習に取り組むということにいたしております。

2 点目の制服がないとできないかという御質問がございました。これはできるできないではなくて、全国から多くのお客様がお越しになりますので、制服でもって臨みたいという意気込みでございまして、御理解をいただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 考えるですけど、衣装をそろえてやるのが小学生らしいのかどうか。お迎えするのに衣装がそろわないと何か格好悪いようなイメージを今とりましたけど

も、やっぱり今の小学生らしく合唱すると、今のありのままの小学生で一生懸命やっている姿を見せる方がお迎えする姿勢としては私はいんじゃないかなと思います。別に衣装をそろえて、プロでないので、そのオープニングのためだけに25万円使われるというのはいかがかなというふうな感じがしますけども、その点、どう考えられるんですか。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 御意見は一つの御意見だろうとは思いますが、しかしながら、先ほども申しました、全国からお客様がお越しになるということ、それから、各小学校の生徒、3校が合同で行うわけでございます。その3校の一体感を出すためにも、やはり一つの制服でまとまっていく方が望ましい、このように考えております。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 済みません。先ほどの教育総務課長の答弁に補足させていただきます。つくりました衣装につきましては、その後の各学校でのいわゆる合唱等の場面につきましても活用するというので、1回限りのものではないということで御理解いただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 52ページのトレーニングセンター耐震事業ということで上がるとるわけですが、昨年、屋根の改修調査費として33万6,000円上がって、調査が済んだ時点で屋根の改修は25年度予算で組みたいという話だったというふうに、この間、議事録見たら言うておられるわけですけども、これどういうようになったでしょうかね。

○議長（牧田 武文君） 平井課長。

○生涯学習課長（平井 文彦君） 答弁申し上げます。

トレーニングセンターの屋根改修につきましては、事前調査費ということで、執行31万5,000円で、5月9日から6月20日にかけてやっております。改修提案もいただきました。それで、新年度、25年度の予算に取りかかろうということも考えておりましたけども、平成18年1月に改正施行された建築物の耐震改修の促進に関する法律、これを町が受けて、三朝町においても耐震改修促進計画が21年の2月に策定されたということで、その中身につきましては、町有施設の中でも特定建築物に供する建築物、それは多数の者が利用する一定規模以上の建築物になるわけなんですけども、その策定されたものに、平成27年度までにはそういう施設につい

て耐震化率100%を目指すというか、目標にしておるということをやっております関係もありますし、災害時における町が指定しておる避難所ということもありますので、まず耐震診断を1次診断、2次診断、10カ月ほどかかります。それで、来年度、26年度に屋根改修と耐震改修工事をあわせてするようなことで検討はしております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） じゃあこの耐震改修事業というのは調査費ですか。

それからもう1点、今の説明、例えば屋根の調査費について、これは耐震にかかったけか、それをあわせてするというのを委員会に報告されておられませんよね。これ、だけえおかしな話であって、所管で審査したときには25年度予算で対応するというようなことを言っというて、こういうやり方はいかななものかと思えますよ。的確な答弁をお願いしますわ。

○議長（牧田 武文君） 平井課長。

○生涯学習課長（平井 文彦君） まず、去年の12月、何日だったですかね、12月の常任委員会、定例会の前の常任委員会、それから今回の3月の常任委員会において、細部まではちょっと、何ちゅうかな、説明はしておりませんでしたけども、おおむねの方向については報告させてもらった都合でございますので、よろしくをお願いします。

それからもう一つ、今計上してある265万2,000円につきましては、耐震診断業務に235万2,000円、それからそれによる判定手数料ですね、判定評価をいただくのに30万円ということで、合わせて265万2,000円計上しております。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 5番。トレーニングセンターの屋根が傷んでおるということで、そのために調査費がつけられたというふうに認識しとる。先送りして3年をまたぐ事業ならな、焦って調査することはなかったじゃないかと。あなたの言い方からすると。

それから、筋は説明したちゃんなこと、そういう話の一つも出とらん。例えば25年度予算で取り組むという話は聞いたけど、それ以降の話は1回も説明あつとらん。これはいかななものかと思うけどな。

○議長（牧田 武文君） 平井課長。

○生涯学習課長（平井 文彦君） 先ほども申し上げましたように、詳しくまでは説明してないと、私も、議事録も読みましたけども、遠藤議員おっしゃいますように、25年度で対応していきたいということを12月の段階で言いました。それで、25年度に施行するつもりではおったんですけども、予定でおったんですけど、耐震改修と屋根改修を一体的にやると浮く経費も出るんじ

ゃないかと。特に足場関係のこともあります。そういう二重投資にならないような配慮をしたということで御理解いただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 53 ページの一番上、多目的展示施設の関係ですけれども、今、指定管理に出す方向で検討されておるといってございまして、以前、施設の屋根の改修、600 万ぐらいかかるというような話が出ったと思うわけですが、指定管理に出す段階で、屋根の改修ちゅうのは考えておられんですか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 昨年までそのような計画で考えておりましたけど、今回、指定管理に出すことで、一つには、指定管理者による美術館の運営というのがどういうふうになるかというふうな見通しというのがなかなかわかりにくい状況にありますので、今年度におきましては、修繕の必要な、利用者にとって不便を来しておりますトイレの改修を行って、指定管理のもとに施設を運営する中で、状況を見ながら屋根を全体的に、屋根を含めて施設の修繕を考えた方がいいというふうな判断をしております、そういうことで進んでいきたいと思っております。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 現状は、屋根、例えば今修理すると安くつくのに、何年か先にしたら経費がかさむちゅうことは考えておられんかな。大分さびとるようですけど。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 現段階で雨漏りとか、そういうところは見られませんので、現状、施設をよく見てみますと、屋根だけではなくて、外壁とか冷暖房とか、かなり古くなってきておりますので、屋根を含めてトータルで施設修繕をした方が効率がいいというふうに判断をしております。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 5 番。要するに、私の変な考えかもしれんけども、これ一遍に出すとごっつい銭になるけえ、ちょっと出すのを控えたというような感じを、割と、そういうことはないか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） そういうことはございません。まじめにとらえております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、商工費、55ページから58ページ、公園管理費まで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 57ページ、例年言っておりますキュリー祭開催補助金200万円、いつも定額助成で、検証されたかということのを再々言っておるわけだけども、いっかな変化がないけど、これ、検討されたですか、本場で。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 毎年議員から御意見をいただいております、大変ありがたいかと思っております。今年度は850年祭の初年のオープンの時期にあってきますので、これから企画委員会を持って、そこらあたりを協議するようになっておりますので、そこと抱き合わせをしながら、ある面でキュリー祭のイベントの展開の仕方というのも見えてくるようなことになればというふうに期待をしておるところでございます。議員の方からもまた質問される中で、思いがあったら一緒に述べていただければ私も助かります。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 57ページの観光協会関係、この間、山田議員の一般質問の中で、町長が、温泉効果研究に係る中間報告会の中の三朝温泉の植物への効果試験というのの発表があった中において、今回、山田議員の質問の中で、ハウスをつくってどうこうという答弁があった。ことしはハウスをつくって、野菜の生産ちゅうか、栽培に取り組むとかという話があったわけ。どこの項目に上がって、どういう内容でしょうか。説明をお願いしたい。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 温泉水を使った植物栽培のいわゆるハウス栽培を、今、鳥大の施設の中で、水耕の施設でやっておられますけど、鳥大の山田准教授のお話では、今年度は三朝町内のどこかの場所にそういった小規模の実証ハウスをつくってやりたいというふうなお話をいただいております。ちょっと現在、1月から2月いっぱいごろまでメキシコの方に行っておられまして、細かい話はできてはおりませんです。

それで、経費としては、日本原子力研究開発機構と鳥取大学の共同研究というふうなことになっておりますので、経費についてはそちらの方で必要な経費を見るということで、予算計上はしておりません。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 57 ページの開湯 850 年の記念事業費なんですが、具体的にはどのような形を考えておられますか。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 850 年の記念事業につきましては、現在、観光関係の青年部の皆さんとかいろんな方、それから地域協議会、地域の方を交えて企画チームというのをつかって、イベントの組み立てをしております。そういった形で、6 月の議会には全体計画をお示しをして、必要な予算、事業計画をお示しできる予定で進めております。今年度につきましては、340 万につきましては、まず、祭りもそうですけど、三朝温泉の町をどういった形で温泉街をつくっていくかということを含めてのランドデザインが必要ではないかというふうに思っております、そういった経費と、それから 3 年間の 850 年の取り組みを情報発信するための経費を今回は計上させていただいています。

○議長（牧田 武文君） 1 番。

○議員（1 番 清水 成真君） 非常に大事なイベントだと考えておりますし、850 年という節目で、3 年間という形でやられるということですので、町民参加も含めて、やはりいい意見を募集されてもいいじゃないかなと思いますが、その点、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） これまでもいろんな形で提案書もいただきながら、会を開いたり、いろいろなところで御意見をいただいておりますので、御意見をいただくことによって参加もしていただけるというふうな形に私たちは持っていきたいというふうに思っておりますので、御理解をお願いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

10 番。

○議員（10 番 山田 道治君） 55 ページの一番下の事業なんですけども、誘客対策というのは非常に大事かなと思ひますけども、これを緊急対策でやられるというのは、この事業が終われば一過性のものに終わるような気がしますが、通常の予算でやられない理由、何かあるでしょうか。

○議長（牧田 武文君） 大村課長。

○財務課長（大村 哲也君） 温泉地への新規顧客開拓事業、緊急雇用の県の基金を利用してやらせていただくように組み立てております。今年度の部分が重点事業ということで観光にシフトした部分の組み立てで来ておりましたので、財政的に有利な部分でこちらの方の事業を選択させていただいたというようなことでございます。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） じゃあこれ緊急対策が終われば、緊急雇用が終わればやらない事業なんですか。

○議長（牧田 武文君） 大村課長。

○財務課長（大村 哲也君） やらないということではなくて、この結果を見ながら、また後年度につなげるような形へは展開したいなどは今思っておりますが、この結果を見てということと考えております。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） 普通の誘客対策費の方ではしっかり見られとるので、こっちの方にぜひ組み込まれて、三朝の危機を救っていただきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 答弁はいいですね。

○議員（10番 山田 道治君） いいです。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） もう一つ、56ページの観光拠点施設整備、これは中のどういう施設を計画されているのかということ、中の事務所はどうなるんだろうかということと、あわせて、裏の駐車場も整備されるように、この数字の中に入っているのかどうか、その3点だけ。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 観光拠点施設整備事業につきましては、現在の観光商工センターを改築して、もう少しコンパクトな2階建て構造ぐらいの形で、温泉街のランドマップとなるようなものとして考えておるところでございます。

中の事務所につきましては、現在3団体が入っておられて、その中で、これまでも検討してきていただきましたし、これからもどういう形で施設を整備するかということについて、検討は引き続きしていただくような形になると思います。今年度の当初予算では、現在、プロポーザルの募集をかけておまして、それに基づいて業者選定をして、それからまた細かい実施設計に入るというふうな経費でございまして、本体の建築自体は今年度と来年度にかけて実施をすることに

したいというふうに思っております。本体の整備の事業につきましては、改めて補正で出させて
いただきたいというふうに思っております。そういったような作業をしてきておるところでござ
います。

それで、あと駐車場のことがございましたけど、済みません、確認ですけど、裏と……。

○議員（10番 山田 道治君） 裏のね、水たまりがいっぱいあるような駐車場、あそこの。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） あそこはもともと岩湯さんの土地を借りるというふうなこと
になっておりますので、そこについては今現在のところは考えておりませんが、商工センターと
あわせて温泉街を含めたあの周辺をどういうふうに整備をしていくかというのも、今、プロジェ
クトの形で作業を進めておりますので、別仕立てでそういった整備をどういうふうにやるのかと
いうのはまとめていきたいなというふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） どうせでしたら裏の駐車場も借りられるでしょうから、ぜひ整備
されてはどうかと、一言。

○議長（牧田 武文君） 松浦課長。

○企画観光課長（松浦 弘幸君） 御意見として伺っておきたいと思います。

○議長（牧田 武文君） よろしいですね。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、土木費、58ページから61ページまで、住宅管理費まで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 59ページ、除雪機械整備費、これ、何集落か申し込みがあって、
予算がついとるわけですが、これは申し込みばどの集落でもできるかということを確認をしたい
と思います。

○議長（牧田 武文君） 早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） 申し込みはどこの集落でも応募ができます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） ということは、集落内の道路を除雪する目的で使用するためには
申し込みができるということですね。それで、例えばそのときに、町の負担が何ぼで部落負担が
何ぼで、維持経費は部落が持たないけんと思うわけですけど、その辺ちょっと。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） 集落内の町道等を除雪するということで申し込みしていただければ構いませんし、購入費の3分の1につきまして、部落負担をお願いしておるところでございます。通常の維持修繕とか燃料については、集落の方で負担をいただくということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（牧田 武文君） 5番。もう一遍で終わりです。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 5番。これは機械の上限、金額の上限、例えば大きなのを買いたい、こまいの買いたいと、いろいろあると思うけれど、場所によって、それは上限は何ぼまでですか、金額。

○議長（牧田 武文君） 早苗課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） 特に上限はありませんけれども、歩道除雪機というものもありますので、サイズ的には町が持っています幅員85センチ程度のものを上限としておりますし、あと、集落内が狭いところがあるということで、機械を小さくしたいとかということの申し出があれば、サイズ的には考えたいというふうには思っております。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。質疑を終結し、進行いたします。

次に、消防費、61ページから63ページまで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 平井 満博君） 自治体消防65周年記念大会参加費で46万9,000円、この根拠をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 松原課長。

○危機管理課長（松原 茂隆君） 東京の出張旅費でございます。派遣を現在考えてますのは、団長以下、副団長、それから消防主任ということで、7名を考えての旅費です。

○議員（6番 平井 満博君） いいです。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

ほかに。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 62ページの消防用施設整備費、一番下の方ですね、補助事業200万、三徳山への事業だと聞いております。火事があったわけでありましたが、ほかの文化財に

対してのこういう施設整備というのは考えておられるかどうか。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 防火用の消火器設置を考えております。24年度につきましても消火器を設置したところでございます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） これ、三徳山に匹敵するような施設整備は考えておられるのかということです。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） それが文化財なのかどうかという部分におきまして、検討は要るだろうと思えますけれども、基本的に重要文化財等でございますれば、同様な検討をしていくということになろうかと思えます。

○議長（牧田 武文君） もういいですか。

○議員（4番 福田 茂樹君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、教育費、63ページから72ページ、学校給食費まで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 69ページ、一番最後の欄ですが、図書館施設改修費、これ空調だというふうに認識しておりますが、先回一部改修をされたというふうに思いますが、そのときに、全部もう老朽化して、めげたら部品がない、調達できんという段階にあるという説明の中において、一部改修なんかでなしに、全部を改修することを考えたらどうですかということを行った。そしたら、業者だか施工者と検討するだかというような話で逃げられた。その段階において、今の文化ホールのカーテンウォールと同じ手法で出されとるだけど、この予算というものが、これはいかななものか。それで、部分改修をしたときになぜ全部できなかったかと聞いたら、休館するのが長引くというようなニュアンスで物を言われて、個々にした方がええという認識で物言っておられたけど、これはおかしいことでないかと思うだけど。そのときに全部改修されとったら、設置費用でも何でも安くついとるって認識しとったけど、違うですか。

○議長（牧田 武文君） 松原生涯学習課参事。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） 失礼します。

全部改修を提案したということでありました。児童図書系統の修理をした際に、全部直す方がよいではないかといったことを言っていただきました。ただ、壊れた時期が冬季になり、利用者に不便をかけないため、児童図書系統の空調機器を修理させていただきました。その際に、そのときがちょうど冬の時期だったということがありまして、児童図書系統だけにさせていただいた。今回要求させていただきましたのは、壊れてから修理するのは使用している時期という、今回要求させていただきましたのは、使用している時期が夏だとか冬だとかいった期間、一定期間となっております。それで、利用者に不便をかける日数が時期を選びますと減るということがありまして、この時期を選んで、今回要求をさせていただいたということです。

ですから、大変ありがたい申し出だったんですが、そういった理由で冬期間の部分を少しでも短縮したかったという思いで、要するに冬期間休館日を減らすという目的があったもので、今回要求をさせていただいたということでございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 今の答弁だと、空調を使用する時期が減る、多い少ないというようなニュアンスで物を言ってもらったら困らへんのかいなど。要するに、僕が認めたのは、その時点では、直したばかりでこっちはまだ大丈夫だと、めげてから直さええというニュアンスで物をとっとるんだな。あなたの答弁に対して。そのときに、全部改修したがいいという、そういう答弁だった。なのに、まだめげとらんに新しい予算、900何万円と出た。そのときも900万円要するという試算してあったが。そのときにしたいと言わんとおって、けられた状態でおって、今、年かわったけえ出しますわいやと、こういうニュアンスはちょっといかなものかと思うし、使用する時期、関係ないんじゃないですか、利用者は。利用者は冬でも夏でもいつでも来るわけだけえ、空調を使用する、使用せんというのは関係あらへんと思うだ、おれは。たまたま冬場で寒かったらいけんという、そのときはわかってるんですよ。子供のところを直さないけんちゅうニュアンスでわかった。だけどそれがまだ冬にかかるけえ、寒うなるけえ、直さないけんという条件だった。真冬でなかった、まだ。これから暖房はせないけん時期になるけえ、前もって直したいというニュアンスで物を言っておられた。そのときはな。それでオーケーだったけど、そのときにはもう部品がないけえというので、全面改修せえと、そしたら試算したら900万円まだ余計要るでないかと、そのときにあわせてしたらどうですかと提案しとるだけえな、そのときに、なら、今はこういうふうにしますけえ、また新たに提案させてもらいますという言い方なかったが。あなたの答弁は。

○議長（牧田 武文君） 答弁要る。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 要るわいな。

○議長（牧田 武文君） 松原参事。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） そのときの答弁としましては、このたびは児童図書系統だけ
させていただきますということをさせていただきました。ですから、一般図書の方についてはまた改
めてという思いでございました。

○議長（牧田 武文君） ええかいな。

ほかに。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） もう一度。3回目だな。

○議長（牧田 武文君） 3回目。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 同じやり方でしょうちゅうのはね、やっぱり理解に苦しむけえ、
やっぱりそのときに言った、委員会で審議して、それを上向きちゅうか、建設的な意見を言っ
とるだけえ、そのときにちゃんと対応して、しっかりした答弁をせんけえこういうことになる。
ガラスでもそれ。図書館の空調でもそれ。同じやり方でやるけえ、うちら委員会としては腹が立
つわけだ。これ、こういうことを続けるだったら委員会で審議することはない。せえでもええと
いうことだよ、これ。言うことをいっかな聞かんだもん。あなたが（聴取不能）つけただけ、そ
れで通せというような考えではね、いっかな審議する意味がないわ。今後のために言っておきま
す、忠告のために。

○議長（牧田 武文君） 朝倉教育長。

○教育長（朝倉 聡君） 11月のときは、参事が申しあげましたように、冬場に向かうという
時期でありまして、工期がちょっと3つ同時にやると長くかかるということで、児童図書部分の
1カ所だけを改修したということでございます。

それで、その後、最終的に壊れるまでということも考えたわけですがけれども、また実際にかな
り老朽化しておるといふことでもありますので、かなり暑い時期、寒い時期に壊れても利用者に迷
惑をかけるということがございますので、今回、当初で提案させていただいて、支障のない時期
に、暑くない、寒くない時期に工事をすることによって計画させていただいたということござ
います。どうぞよろしく申し上げます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 65ページ、西小駐車場の購入費965万、これは、昨日だった
ように思うんですけども、その上にあります借り上げ料というところで昨年は処理されてたのかど
うかというのを含めて、なぜこういうのが急に発生してきたのか、買わなきゃいけないのかとい

うことをお聞きしたいです。

○議長（牧田 武文君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 購入の方向になったのは、借りております方から売りたいという希望があったこと、町といたしましても安定的に確保しておきたいということ、この2点の両者の話が合意に達したということで、委員会に説明させていただいておりますのは、場所的にも駐車場用地といたしておりますが、通学路の安全上、必ず必要な土地だということで、委員会の方では御理解いただいておりますので、両者が合意したということで、購入の方に走ったということで御理解いただきたい。

○議員（4番 福田 茂樹君） どこに借り入れが計上してあったんですか。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） その部分におきましては、大村課長にお願いしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 議員御質問の部分については、小学校施設管理費の中に西小学校駐車場の借り上げ料を計上しておりました。今年度分についても目安を9月までに何とか契約できればというようなイメージで、8月中までの費用について本年度は計上させていただいております。

○議員（4番 福田 茂樹君） 済みません。どこの項目、何ページに大体、そんなん今年度はないの。ほかの用地について。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 65ページの小学校費の中の上から12行のところです。8万6,000円って上がってる部分です。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 昨年度、この金額が大体20万、去年上げてあるんですね。24年度。ということは、これがなくなったということは、12万で年間借りてた土地というふうに理解すればいいですか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 昨年度の予算額が20万5,500円で計上させていただいております。今年度については8月中までということで、8万5,625円算定しております。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 本人が事情があって売りたいという部分と町がどうしても必要だという部分、基本的にはこれ一番最初に整備をするときにこういう話はすべき話じゃなかったか

なというふうに私は思います。どうしても町が要するという土地であれば、借りるということではなくて、ましてや年間20万、借りとったら、40年分の借地料ですよ、言ってみれば。この整合性、私はよくわからないんですけど。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 以前の経過は承知いたしておりませんが、考え方でございますけれども、毎年度借地でもいいでないかという御質問につきましては、町の考え方といたしまして、やはりいつまでも借地で、町の財産になっていかない、ただお金を払って場所を確保するというよりも、あくまでも買い取って町の財産にした上で、そして例えば借地の相手から、もう契約を解除すると言われて困るようなことのないように、可能な限り買い取っていくということで進めるべきだろうと思っております。御理解をいただきたいと思っております。

○議員（4番 福田 茂樹君） 議長、特別にもう1回。

○議長（牧田 武文君） 別な。

○議員（4番 福田 茂樹君） 議長の許可をもらったらええわいや。ほかに聞くけえ。その考え方のことで。

○議長（牧田 武文君） だれに。ほかに。（発言する者あり）

もう1回だけだよ。

○議員（4番 福田 茂樹君） 4番。今の執行部の考え方をもとに、では年間500万からの借地料を町は払っている部分がある。総務の部分かどうか、財産の部分か知りませんが。これも同じ考え方でいかないけんですが。一切解決されてない、これ。おかしいじゃないですか、それだったら。だれが答えますか。町に必要な施設ですよ、これも。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの議員の言われているのが町有財産管理費のところでは507万9,000円というのを今年度は上げさせていただいておる事案かと思っております。具体的には、ここの中では役場庁舎の駐車場お一方……。

○議員（4番 福田 茂樹君） 場所はいいんです。場所は知ってますから。考え方はですよ。

○財務課長（大村 哲也君） それで、去年526万1,000円当初予算に上げさせていただきました。今年度、507万9,000円になったというのは、先ほど遠藤課長が申しましたけれども、できるだけ町有地としてやはり買い取っておく方が正しいという意見と同じ意見でありまして、毎年交渉とかはしておるんですけども、相手があることですので、買うようなことにはなっていないんですけど、ひとかたについては昨年、ようやく長い経過の中で買い取りを

させていただく話がまとまったような案件もございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 関連質問。

今の答弁の中において、これ小学校の先生の駐車場を目的として町が借り上げとったというのが基本ですか。まず1点目。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 基本的にはそのように、駐車場が足りないということで貸借を契約いたしました。安全上ということもその背景にはあったと理解いたしております。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 要するに子ども議会のときに横断歩道の移転という関係の話が出て、町長が、その区の歩道を上だか橋側に動かすという条件において、竹田、高勢地区から出てくるバスのおり口としてのスペースを確保という意味だというふうに認識するわけですが、その流れを追うなら、県道の隣だからバス停の場所として申請すれば、県がバス停としての、おりの方側ですよ。今の駐車場のところを確保してもらえないかというニュアンスで物を言っただけで、対応できんちゅう返答だったですか。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 結論から申しますと、対応ができないということでございます。理由は、バス停にするということになると、バスの乗降口の15センチ程度の段差をつける必要があるということが1点でございます。そういたしますと、駐車場としての機能が果たせなくなる。それと、県道でございます。バス停をつくらうとしますと、今の駐車場の長さ、いわゆる橋の方からの長さの部分において、バスが回ってまいりますので、長さが足りないということで、結果としてバス停はできないということになろうかと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） そういうふうに答弁されると困るわけだけど、例えば集落等のバス停は、あのくらいの広さで全部対応してあると思うけど、それで、今、駐車場とバス停を兼用するということではできんかしらんけど、15センチ乗降口のところに段差をつけるという話だろうと思うけど、できんと思うけども、それを県でただでつくってもらったら、職員の駐車場は別に考えりゃあええでないかという認識は違いますか。

○議長（牧田 武文君） 遠藤課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） お答えに窮しますが、県が買って、県に要求はするという話になろうかと思いますが、恐らく門前払いされるような気がいたしております、なかなかバス停にはならんのではないかというふうに認識しております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） ないようでしたら質疑を終結し、進行いたします。

質問される方、また答弁される方は簡潔に、わかりやすくお願いいたします。

次に、災害復旧費、72ページから、予備費、74ページまで。（発言する者あり）まだ済んどらんか。ごめん。訂正します。

2番。

○議員（2番 藤井 克孝君） 済みません。71ページですけど、上から4行目ですけど、三朝町スポーツ少年団の補助金、これは今、何グループあって、指導員が何名おられるかというのをちょっとお聞きいたしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） その質問いけません。

○議員（2番 藤井 克孝君） だめ。ならいいです。

○議長（牧田 武文君） いいですか。

○議員（2番 藤井 克孝君） いいです。

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費、72ページから、予備費、74ページまで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、給与費明細書、75ページから最後まで、質疑ありませんか。

4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 4番。80ページ、定年退職及び勸奨退職による退職手当、昨年の予算のを見てもとというよりも、最近非常にマスコミでこの部分が大きく報道をされています。去年までは気がつかなかったとか、見なかったわけですけども、この支給率、国と町、昨年の場合だったら同じ率が書いてあります。今回この率で町として問題ないのかという点。そしてもう一つ、この率は、だれがどこで決めるのかという点。さらには、ここは基本的には一般職なのか、特別職は別個にあるのかという点をお聞きしたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 総務課長。

○総務課長（山根 猛昭君） 80ページの退職手当の関係でございますが、国の制度と町の支給率が変わっております点につきましては、国につきましては、平成25年の1月1日で調整率というものが変わりました、支給率につきましてはこの率に改定されておるということでございます。

なお、本町におきましては、旧来の率が現状でございますが、先般、2月の28日に県の退職手当組合の総会がございまして、その折に国と同じ水準にするというふうなことで条例改正がなされたところでございます。だれがどこでという質問につきましては、県の退職手当組合で、町村の退職手当組合で決定するというところでございます。退職手当組合に出られるのは首長でございます。

それと、退職手当の率は一般職のみの改定でございまして、特別職の改定はされておられません。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） 特別職の、大変財布の中身を見て、副町長の方を見て言うわけじゃないですけど、特別職の率というのはここには上げないものなんですか、大体において。それとも特別職は退手からの繰り入れがないのかどうかという点。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ここには上げないかという御質問についてお答えいたします。

この給与費明細書の様式は、予算のつくり方とかで様式が示されておるものに準じてつくっておりますので、そういう認識であります、例年。よろしくをお願いします。

○議長（牧田 武文君） 森脇副町長。

○副町長（森脇 光洋君） 特別職の率でございますけれども、退職手当に関する条例に定めてございますので、その中でござらんいただければというふうに思っております。

○議長（牧田 武文君） 4番。

○議員（4番 福田 茂樹君） だそうです。お願いします。

○議長（牧田 武文君） ええですね。

ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑を終結し、進行いたします。

最後に、その他全般について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で議案第 2 号、平成 2 5 年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結します。

議案第 3 号、平成 2 5 年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 4 号、平成 2 5 年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、議案第 5 号、平成 2 5 年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、議案第 6 号、平成 2 5 年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 7 号、平成 2 5 年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 号、平成 2 5 年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 9 号、平成 2 5 年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 0 号、平成 2 5 年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第11号、平成25年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第12号、平成25年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第13号、平成25年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 山田 道治君） 新年度は結婚式が20件組んでありますけど、これは予算としてはいかにどの数字になるのか。もしわかれば、24年度、もう今から結婚式申し込まれる方はないと思いますので、件数がわかればということと、説明資料の191ページで、施策が8項上がってますけども、新しい施策はどれなのかということをお聞きしたいと思います。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） ちょっと後の質問をもう1回お願いします。

○議員（10番 山田 道治君） もう1回最初から……。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） いや、最初の方はいいですけど、後の質問。

○議員（10番 山田 道治君） 一番最後のやつ。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 最後の質問。

○議員（10番 山田 道治君） 191ページの施策8項目上がってますけども、24年度にない新しい施策はどれなのかと。

○議長（牧田 武文君） 知久馬館長。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 結婚式については、20件ありますけども、それぞれのところで使用料であるとかどうのこうのということで、結婚式のみというのはちょっと今すぐよう返答しませんので、後でお示しさせていただきたいというふうに思います。部門部門で宴会料とかどうのこうのってありますので、後で説明させていただきます。

説明資料につきましては、新たなものとしたしましては、7番のブランナールの友の会を募るというのが大きなものがございますけども、ただいま50周年企画というものを企画しております、その部分については、4月の区長会までには決定をして、示させていただきたいというふうに思います。

○議長（牧田 武文君） 10番。

○議員（10番 山田 道治君） やっぱり予算ですからね、結婚式で幾ら見られとるか、全部ばら

しちゃってるのはわかるですけども、だから質問したんですけどね、わからんならわからんで結構です。後で教えてください。

それから、2点目に、もしわかればという条件つきで、24年度の組数を教えていただきたいと言いましたけども。

- 国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 24年度ですか。
- 議員（10番 山田 道治君） そうです。
- 国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） の結婚式のですか。
- 議員（10番 山田 道治君） です。組数というか。
- 国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） それもちょっと今ここでは説明はようしません。
- 議長（牧田 武文君） 済みません。しばらく休憩をいたします。再開を20分から。

午後2時11分休憩

午後2時20分再開

- 議長（牧田 武文君） 再開いたします。
知久馬館長。
- 国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 失礼いたします。
25年度の予算は、結婚式を20組予定しておりまして、881万6,000円。24年度につきましては、2月末現在で12組、総売り上げが602万4,000円となっております。
- 議長（牧田 武文君） 10番。
- 議員（10番 山田 道治君） 30件の予定で12件ですよ。ここ20組予定しておりますので、確率からいうと10件くらいに終わっちゃうのかなという。取り組みにしても新しい取り組みが1件しかないということですから、しっかり頑張って、目標を達成していただきたいと思います。
- 議長（牧田 武文君） 答弁よろしいですね。
- 議員（10番 山田 道治君） いいです。
- 議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

- 議長（牧田 武文君） ないようですので質疑を終結し、進行いたします。

議案第14号、三朝町防災会議条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第15号、三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例及び三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第16号、三朝町営住宅等の整備基準に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第17号、三朝町町道の構造の技術的基準等に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第18号、三朝町準用河川条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第19号、三朝町町営事業分担金徴収条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第20号、三朝町道路占用料徴収条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第21号、新たに生じた土地の確認について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第22号、坂本地区地籍調査事業に伴う字の区域の変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第23号、三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 24 号、三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 25 号、三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 26 号、損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 27 号、三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 28 号、定住自立圏形成協定の変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 29 号、平成 24 年度三朝町一般会計補正予算（第 9 号）について、質疑ありませんか。
5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 29 ページ、一番最後の欄ですが、おいしい三朝米生産農家育成事業費、予算が 320 万に対して 140 万 9,000 円の減額補正されとるわけですが、内容説明をお願いします。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） ただいまの遠藤議員の御質問にお答えいたします。

おいしい三朝米生産農家育成事業補助金の減額部分ですが、特裁米ということで、コシヒカリに補助金を出しておりますが、特裁米の生産による数量の減によります減額でございます。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5 番。

○議員（5 番 遠藤勝太郎君） 数量の減ということはどういう意味ですか。1 等米がなかったけえという意味ですか。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 24 年度はコシヒカリの特裁米の部分について、1 等米、2 等米関

係なしで一応補助金を出しております。その生産量の数量においての生産による減でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 何ぼ見込まれて、何ぼで140万の減額という、ちょっと教えてください。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 数量につきましては、今現在持ってきておりませんので、また持つて上がりたいと思います。お知らせいたします。

○議長（牧田 武文君） ちょっと休憩します。しばらく休憩いたします。

午後2時27分休憩

午後2時28分再開

○議長（牧田 武文君） 再開いたします。

岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） どうも失礼いたしました。

当初予算見込み額といたしましては、出荷量19万2,000キロを見込んでおりましたが、実際の出荷量が10万7,450キロというようなことで、減額をしております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 3遍です。もう終わりです。済みません。

ほかに。

1番。

○議員（1番 清水 成真君） 子宮頸がんワクチンですけども、全額補助であります。先回も質問しましたけども、受けられなかった方々というのは何か理由がありましたか。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 子宮頸がんワクチンのことですが、現在、中1から高1、それから高2まで延ばした部分で実施を無料でしておりますが、中3段階が一番参考値になると思いますが、現在1名の方がまだというふうなことですが、ただ、高1まで飲ませるというふうなこと、受診勧奨につきましては、まだ定期予防接種は25年度からでございますので、25年度に積極的に勧奨していくというふうなこと、現在もPRはしております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 1番。

○議員（1番 清水 成真君） 現在、副作用の件についていろいろと議論がされておりますけども、副作用の件についてはどのような形で、注意喚起とかされてますか。

○議長（牧田 武文君） 前田課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 現在は任意接種というふうなことでございます。一般的に副作用等につきましては、医療機関でももちろん説明もございますし、それから、接種をすることの意義というあたりもあわせて説明をされております。定期予防接種になりますと、そのあたりも情報提供しながら接種を勧奨していくというふうなことになります。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

○議員（1番 清水 成真君） はい。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

7番。

○議員（7番 松村 修君） 38ページの諸支出金の国民宿舎事業支出7,197万円の内容をちょっと説明を願いたいと思います。

○議長（牧田 武文君） 知久馬館長。

○国民宿舎事業管理者（知久馬孝紀君） 7,197万というのの説明でございますけども、当初、エアコンを1,500万の予定で借り入れる予定でしたが、303万減額になりました。それとあわせて、水道会計から7,500万円借り入れ残がありますけども、今度、一般会計の方から7,500万を借りかえるもので、差し引きが7,197万円でございます。

○議長（牧田 武文君） 7番。

○議員（7番 松村 修君） 借りかえということですが、これから見ると、諸支出金、単年度で全額償還というような格好じゃないですか。

○議長（牧田 武文君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 単年度ということですが、これにつきましては、国民宿舎事業に町が一たん貸し付けて、国民宿舎事業がまとめてそれをもって水道事業会計に返済します。それで今度は国民宿舎の方が一般会計の方に年払いで分けて返済するというような仕組みになります。

○議員（7番 松村 修君） わかりました。

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

ほかに。

5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 毎年こだわっておりますが、竹林整備地域活動支援補助金で13

1万6,000円減額、県支出金で136万円減額ということであります。当初予算381万円で3ヘクタールを目標に、ヘクタール当たり149万円の0.85分を補助として出したという状況だと思うわけですが、実際にはどれだけの面積をされて、どれだけ使われたか、ちょっと。（「休憩」と呼ぶ者あり）数数えてよ。休憩を挟むと回数が減るけえな。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 大変申しわけありません。24年度に竹林整備を実施した面積が、5団体やっております、2.4ヘクタール実施しております。当初の計画よりも減になっております。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 県の支出金が減ったけえ作業面積が減ったのか、作業面積が減ったけえ支出金を戻したのか、どういうことですか、この流れは。

○議長（牧田 武文君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 流れといたしましては、町の実施分が落ちたために、県の支出分が落ちました。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） 5番。

○議員（5番 遠藤勝太郎君） 例年、面積が多くて対応できない部分があったというニュアンスで見とただけでも、これ減額補正は、だけえ町がようしないけ戻したという団体ですか。5団体、今、例えば私の土地をだれかがしたいということで、私が15%払って、85%は県と町に補助金もらってするという段階で作業をされたと思うけど、その段階において、申し込みが少なかった、4団体、5団体という流れは、申込者が少ないということですか。それで、例えば何ヘクタール以上でなけりゃ、まとまってなけりゃ申請できんという段階でしてあるのか、小規模でもできるのか、その辺の、ちょっと。

○議長（牧田 武文君） 岩山課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 規模的には1反以上あればできるというようなことになっております。しかし、実際にする段階、要望等も含めまして、予定している部分よりも面積的には減になるという傾向にありますので、その辺の申し込みとのバランスの部分があると思います。以上でございます。

○議長（牧田 武文君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） よろしいですか。

質疑を終結し、進行いたします。

次に、議案第30号、平成24年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第31号、平成24年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第32号、平成24年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第33号、平成24年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第34号、平成24年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第35号、平成24年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第36号、平成24年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第4号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第37号、平成24年度三朝町会計事務集中管理特別会計補正予算（第3号）について、

質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 38 号、平成 24 年度三朝町財産区特別会計補正予算（第 3 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 39 号、平成 24 年度三朝町水道事業会計補正予算（第 4 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 40 号、平成 24 年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題としております 39 件の議案のうち、議案第 2 号、平成 25 年度三朝町一般会計予算、議案第 29 号、平成 24 年度三朝町一般会計補正予算（第 9 号）については、5 人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会により審査することになっており、特別委員の選任は議長が指名することになっておりますので、総務教育常任委員会から山田道治議員、清水成真議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、平井満博議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上 5 名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました 5 名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から山田道治議員、清水成真議員、産業民生常任委員会から福田茂樹議員、平井満博議員、副議長、遠藤勝太郎議員、以上 5 名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の 37 件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御

異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧田 武文君） 御異議なしと認めます。よって、議案第 2 号及び議案第 29 号を除く 37 件の議案を、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

なお、議案第 2 号及び議案第 29 号につきましても、それぞれ所管事項の審査を各常任委員会
でお願いいたします。

○議長（牧田 武文君） 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

午後 2 時 40 分散会
